

施設カルテ 2023

リストNo	03-001	施設コード	00015			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	アクトシティ浜松Aゾーン					
所在(町名・番地)	中区板屋町111-1					
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男			
	施設	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男			
設置根拠(法)	—					
条例	アクトシティ浜松条例					
設置目的	市民の文化の向上及び地域産業の発展を図るため(アクトシティ浜松条例第1条)					
主な利用者	市民(個人/文化団体)、企業、官公庁団体、学校団体他					
運営形態	施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間	2022/04/01 ~					
管理者名	(公財)浜松市文化振興財団					
開館時間	9:00 ~ 22:00					
建物情報	総延床面積	39,850.72	土地情報	土地面積	15,438.30	
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造		うち所有面積	15,280.30	
	地上階数(主要建物)	5			うち借地面積	158.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1994/8/23				
	経過年数(主要建物)	28				
用途地域	商業地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
	一般財源	—	—	—		
特記事項	収入、支出、及び利用状況は、「00016アクトシティ浜松Cゾーン」、「00017アクトシティ浜松Dゾーン(一部)」分を含む					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	678,345	551,685	357,614
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	74,977	5,178	197,530
	収入計(A)	753,322	556,863	555,144
	支出(千円)	人件費	252,737	245,237
	物件費(委託料)	381,360	376,850	374,347
	維持補修費(修繕費)	17,679	3,699	6,891
	物件費(光熱水費)	359,115	323,412	294,578
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	1,010,891	949,198	926,133
	行政コスト(B-A)	257,569	392,335	370,989
	収支前年比	65.65	105.75	211.85
	(参考)指定管理料	870,638	917,690	945,850
	(参考)減価償却費	457,775	457,775	457,775
利用状況	利用コマ数/年	8,763	6,972	5,723
	利用可能コマ数/年	13,541	13,676	12,604
	施設利用者数/年	600,873	374,467	199,855
	開館日数/年	357	357	331
	施設定員数	5,230	5,230	5,230
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	4,056,855	5,493,303	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	雨水対策工事	22,269	2019	アクトシティ浜松Aゾーン遠風機・排水ポンプ更新工事(2期工事)	5,852
2021	アクトシティ浜松A・C・Dゾーン給水・消火設備弁類等更新工事	92,848	2019	アクトシティ浜松大ホール舞台上手・下手木床改修工事	10,321
2021	アクトシティ浜松Aゾーン北側螺旋階段改修工事	35,811	2019	アクトシティ浜松Aゾーン空調制御機更新工事(2期工事)	77,000
2020	アクトシティ浜松大ホール舞台上手・下手木床改修工事	11,220	2019	アクトシティ浜松Aゾーン空調制御機更新工事(1期工事)	60,610
2020	アクトシティ浜松Aゾーン池沼火設備池ヘッド更新工事	4,730	2019	アクトシティ浜松A・C・Dゾーン池沼火設備更新工事	64,350
2020	アクトシティ浜松Aゾーン敷地歩道B-1号線路盤ベント更新工事	25,192	2019	アクトシティ浜松Aゾーンエレベーター6号機更新工事	30,580

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	0.5
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	0.6
03-004	福祉交流センター	市域	0.9
03-029	南部協働センター	生活	1.0
03-008	鴨江アートセンター	地域	1.1
03-022	東部協働センター	生活	1.2
03-003	勤労青少年ホーム	市域	1.2
03-077	江東会館	コミュニティ	1.7
19-003	駅南地下駐車場	地域	0.2
09-004	中央保健福祉センター(いきいきプラザ中央)	地域	0.3
10-002	ふれあい交流センター(いたや/いきいきプラザ中央)	地域	0.3
12-001	アクトシティ浜松Cゾーン	広域	0.3
04-002	アクトシティ浜松Dゾーン	広域	0.3
23-129	新川モール	地域	0.3
19-004	観光バス公共駐車場	地域	0.4
04-008	浜松科学館	市域	0.4



基本情報	リストNo	03-001	施設コード	00015	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課
	施設名	アクトシティ浜松Aゾーン				施設	市民部創造都市・文化振興課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	芸術・文化の拠点の創造と発信					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の文化の向上及び地域産業の発展を図るため(アクトシティ浜松条例第1条)					
		主な業務内容	芸術文化企画(公演、講演会、音楽セミナー)、研修会等の開催、貸館業務				
		主な利用者	市民(個人/文化団体)、企業、官公庁団体、学校団体他				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		景気の動向に左右されるが、一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		文化事業とコンベンションの拠点施設として、今後もニーズはある。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		アクト・ニューアーティスト・シリーズ(計6回)	2022	—	—	913	
			2021	—	—	554	
			2020	—	—	233	
			2022	—	—	1,650	
事業②	アクトプレミアムシリーズ(計5回) ※うち1回中止	2021	—	—	—		
		2020	—	—	998		
事業③	浜松いわた信用金庫「夢に追いかぜコンサート In 浜松」	2022	—	—	840		
		2021	—	—	750		
事業④	—	2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	経年劣化による施設設備の損傷・故障等が発生している。一定規模の修繕については指定管理者負担で行ってもらっているものの、大規模な改修や設備更新については市で実施する必要がある。特に舞台設備については、改修に巨額な費用が必要となることから、緊急性の高いものから更新、改修を行っている。					
	対応策	平成23年度に中長期計画、平成27年度に平成28年度から平成32年度までの5年間の短期計画、令和元年度に令和3年度から令和12年度までの10年間の計画、令和2年度に建築後80年までの長期修繕計画を作成し、計画的に改修等を行うとともに、突発的な緊急修繕にも対応していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
民間移管		—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—		
民活導入	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
		アクトシティの民間部分と協力し、アクトシティ活性化事業を行っている。					

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	6,463	9,845	9,309	1人当たりのコスト(円)	429	1,048	1,856	
	施設利用率(%)	64.7	51.0	45.4	1開館日当たりのコスト(円)	721,482	1,098,978	1,120,813	
	1日当たり利用者(人)	1,683	1,049	604	1定員当たりのコスト(円)	49,248	75,016	70,935	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性	(縦軸) 利用状況 前年収支比等による評価		(横軸) 建物の状況(耐震性、築年数等)による評価		(縦軸) 前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価		(横軸) 利用状況等による評価	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
個別方針	公共施設等総合管理計画より抜粋	<p>拠点的な施設として、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も視野に入れながら、大規模改修など施設の長寿命化を進めます。また、近隣市町や県との連携など、広域による運営、利活用についても検討します。</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—	—	
民間との複合施設であり、適切な維持管理に努める。									

リストNo	03-003	施設コード	05614			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	勤労青少年ホーム					
所在(町名・番地)	中区船越町1170					
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	産業部産業振興課 雇用・労政担当	課長名 田中 言彦			
	施設	産業部産業振興課 雇用・労政担当	課長名 田中 言彦			
設置根拠(法)	—					
条例	浜松市立勤労青少年ホーム条例					
設置目的	勤労青少年の健全な育成及び福祉の増進を図るために設置(浜松市立勤労青少年ホーム条例第1条)					
主な利用者	市内に住所を有する又は勤務する40歳未満の勤労青少年、サークル活動利用者、地域住民、各種地域団体					
運営形態	指定管理者					
指定管理または包括管理委託等の期間	2020/04/01 ~					
管理者名	東海ビル管理(株)					
開館時間	9:00 ~ 21:30					
建物情報	総延床面積	2,932.12	土地面積	8,868.07		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	8,868.07
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1985/4/9				
	経過年数(主要建物)	38			代表地目(現況地目)	雑種地
用途地域	近隣商業地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—	—		
特記事項	—					



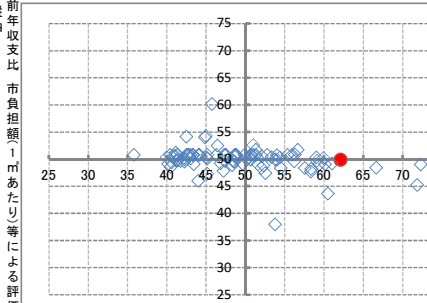
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	10,444	10,391	9,980
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	23,726	23,612	14,871
	収入計(A)	34,170	34,003	24,851
	人件費	23,592	24,418	23,197
支出(千円)	物件費(委託料)	790	825	823
	維持補修費(修繕費)	1,764	1,290	2,469
	物件費(光熱水費)	4,796	3,697	3,276
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	30,942	30,230	29,765
行政コスト(B-A)	-3,228	-3,773	4,914	
収支前年比	85.56	-76.78	-210.54	
(参考)指定管理料	17,485	16,938	16,866	
(参考)減価償却費	37,198	37,198	37,198	
利用状況	利用コマ数/年	26,142	25,881	22,875
	利用可能コマ数/年	59,007	61,506	58,064
	施設利用者数/年	125,169	122,623	104,689
	開館日数/年	359	359	330
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	491,761	483,573	—	
	—	—	—	
	—	—	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	外壁改修	34,417	2014	LED照明導入工事	4,754
2021	受変電設備改修工事	16,798	2009	直流電源装置置鉛蓄電装置取替工事	2,667
2021	勤労青少年ホーム体育館照明設備改修工事	9,680	2007	空調設備改修工事(機械設備工事)	14,700
2020	直流電源装置更新工事	8,547			
2017	屋根防水工事	19,610			
2014	テニスコート夜間照明器具改修工事	5,270			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	1.0
03-022	東部協働センター	生活	1.0
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	1.0
03-077	江東会館	コミュニティ	1.1
03-001	アクトシティ浜松Aゾーン	広域	1.2
03-030	曳馬協働センター	生活	1.3
03-031	蒲協働センター	生活	1.7
03-069	金屋会館	コミュニティ	1.8
14-039	浜松第15分団	コミュニティ	0.4
26-003	北ポンプ場	—	0.4
15-005	船越小学校	生活	0.4
07-008	さとう放課後児童会	生活	0.5
15-003	佐藤小学校	生活	0.5
07-075	さとう第2放課後児童会	生活	0.5
26-002	中ポンプ場	—	0.5
07-016	ふなこし放課後児童会	生活	0.5



基本情報	リストNo	03-003	施設コード	05614	所管課	本庁	産業部産業振興課 雇用・労政担当
	施設名	勤労青少年ホーム				施設	産業部産業振興課 雇用・労政担当
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	だれもが働きやすい労働・雇用環境の整備					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		勤労青少年の健全な育成及び福祉の増進を図るために設置(浜松市立勤労青少年ホーム条例第1条)					
		主な業務内容	貸館業務、講座等の開催、自主事業				
		主な利用者	市内に住所を有する又は勤務する40歳未満の勤労青少年、サークル活動利用者、地域住民、各種地域団体				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		勤労青少年人口の減少により、勤労青少年のニーズが減少している。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		勤労青少年利用者の減少が予想されるが、地域住民の利用が増加することが予想される。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		青年文化講座(事業費には一般文化講座の事業費も含む)	2022	13,895	—	3,435	
			2021	13,991	—	2,775	
			2020	8,960	—	1,942	
		2022	—	—	19,924		
事業②		一般文化講座	2021	—	—	21,954	
			2020	—	—	14,809	
事業③		アイミティ祭	2022	135	—	700	
	2021		—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
2020	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	施設の老朽化。					
	対応策	令和3年度から勤労福祉施設(勤労会館と勤労青少年ホーム)のあり方検討を行った結果、勤労青少年ホームを拠点的施設として機能統合し、新たな勤労福祉施設として整備することとする。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	○	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	予定なし						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-1,101	-1,287	1,676	1人当たりのコスト(円)	-26	-31	47
	施設利用率(%)	44.3	42.1	39.4	1開館日当たりのコスト(円)	-8,992	-10,510	14,891
	1日当たり利用者(人)	349	342	317	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>		 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				
参考	利用者の圏域毎の方向性	各用途別で必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
勤労会館と機能統合し、新たな勤労福祉施設として令和7年度に大規模改修工事を行い、令和8年度にリニューアルオープンを予定する。								

リストNo	03-004	施設コード	02342		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	福祉交流センター				
所在(町名・番地)	中区成子町140-8				
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課	課長名 渡辺 貴史		
	施設	健康福祉部福祉総務課	課長名 渡辺 貴史		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市福祉交流センター条例				
設置目的	地域福祉活動の拠点として、高齢者や障がい者の生きがい作りの場の提供、福祉関係団体等の活動場所の提供等を図るため				
主な利用者	福祉関係団体(高齢者、障がい者、ボランティア団体等)、小・中学校、高等学校の児童・生徒等				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~				
管理者名	社会福祉法人浜松市社会福祉協議会グループ				
開館時間	9:00 ~ 21:30				
建物情報	総延床面積	9,025.05	土地情報		
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造		土地面積	5,710.49
	地上階数(主要建物)	5		うち所有面積	5,710.49
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—		代表地目(現況地目)	官公庁用地
	建築年月日(主要建物)	1984/3/31			
経過年数(主要建物)	39				
用途地域	商業地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
一般財源	—	—	—		
特記事項	R3.8~R4.7まで大規模改修工事のため休館。				



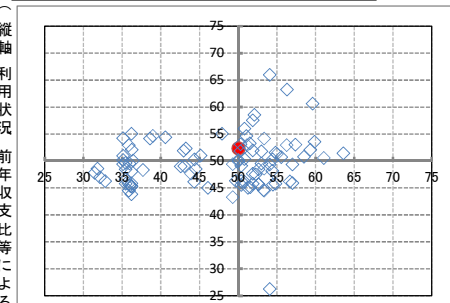
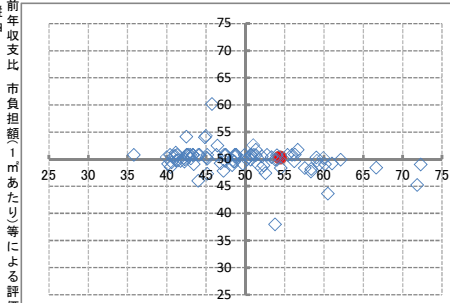
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	29,423	14,477	21,668
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	15,740	417	294
	収入計(A)	45,163	14,894	21,962
	支出(千円)	人件費	15,220	28,098
物件費(委託料)	34,596	11,408	44,708	
維持補修費(修繕費)	24	33	1,904	
物件費(光熱水費)	24,961	10,801	14,843	
物件費(借地利)	0	0	0	
支出計(B)	74,801	50,340	85,100	
行政コスト(B-A)	29,638	35,446	63,138	
収支前年比	83.61	56.14	127.28	
(参考)指定管理料	48,177	41,114	69,257	
(参考)減価償却費	68,621	68,621	68,621	
利用状況	利用コマ数/年	14,275	4,289	14,725
	利用可能コマ数/年	50,750	18,753	68,489
	施設利用者数/年	83,062	23,467	76,130
	開館日数/年	203	78	285
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	509,799	754,827	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	機能拡充工事	123,932	2017	1階污水配管更新工事	7,344
2022	大規模改修工事	1,887,395	2017	内装改修工事	9,176
2022	吊り天井落下防止対策工事	24,987	2016	修繕計画工事(機械)	24,254
2019	屋根・外壁改修工事	9,020	2016	修繕計画工事(電気)	4,986
2018	建築工事(引戸開閉装置取替、自動ドアエンジン取替)	9,022	2016	修繕計画工事(建築)	27,969
2018	電気設備工事(電話交換設備及びトイレ呼出し表示器改修)	7,210	2016	舞台機構設備改修工事(第3期)	20,736

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-029	南部協働センター	生活	0.6
03-008	鴨江アートセンター	地域	0.7
03-001	アクトシティ浜松Aゾーン	広域	0.9
03-028	県居協働センター	生活	1.0
03-080	江西会館	コミュニティ	1.2
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	1.2
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	1.2
03-006	勤労会館	地域	2.0
15-007	双葉小学校	生活	0.4
07-013	こだま放課後児童会	生活	0.4
01-010	海老塚事務所	地域	0.4
19-002	ザザシティ駐車場	地域	0.5
05-006	武道館	市域	0.5
14-032	浜松第4分団	コミュニティ	0.6
01-006	ザザシティ浜松中央館5階	市域	0.6
07-001	浜松子ども館	市域	0.6



基本情報	リストNo	03-004	施設コード	02342	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課
	施設名	福祉交流センター			施設	健康福祉部福祉総務課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	人と人のつながりをつくる社会の実現					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		地域福祉活動の拠点として、高齢者や障がい者の生きがい作りの場の提供、福祉関係団体等の活動場所の提供等を図るため					
		主な業務内容	貸館業務(ホール等)、福祉関連の講座およびイベント等の開催				
		主な利用者	福祉関係団体(高齢者、障がい者、ボランティア団体等)、小・中学校、高等学校の児童・生徒等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者数があり、需要が確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			高齢化に伴い、高齢者団体やボランティア団体の利用増加が予想される。			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	令和4年度8月1日に大規模改修を終え、リニューアルオープンしたが、大規模改修で対応していない部分については、適切な修繕を行い、維持管理に努める。					
	対応策	経年劣化については、計画的に修繕を行うとともに、緊急補修についてもリスク分担の中で適切な対応していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	○	周辺の公共施設の廃止等も考慮しながら検討			
複合化	—	—	○	周辺の公共施設の廃止等も考慮しながら検討			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理者制度導入済み						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	3,284	3,928	6,996	1人当たりのコスト(円)	357	1,510	829
	施設利用率(%)	28.1	22.9	21.5	1開館日当たりのコスト(円)	146,000	454,436	221,537
	1日当たり利用者(人)	409	301	267	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	参考	<p>各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には、利用状況を踏まえ統廃合や複合化を検討するとともに、民間活力導入も検討をする。</p>								

リストNo	03-005	施設コード	02410		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	浜北文化センター				
所在(町名・番地)	浜北区貴布祢293-1				
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一		
	施設	浜北区・まちづくり推進課	課長名 山本 佳弘		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市浜北文化センター条例				
設置目的	市民の文化的教養の向上に資するため(浜松市浜北文化センター条例第1条)				
主な利用者	生涯学習関連団体、高齢者団体、不特定多数の一般市民等				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~				
管理者名	浜松市文化振興財団・なゆた浜北共同事業体				
開館時間	9:00 ~ 21:30				
建物情報	総延床面積	10,224.28	土地面積	18,981.58	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	15,893.01
	地上階数(主要建物)	3			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	3,088.57
	建築年月日(主要建物)	1981/6/1			
	経過年数(主要建物)	41		代表地目(現況地目)	宅地
用途地域	商業地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
一般財源	—	—	—	—	
特記事項	(指定管理料 内訳) 浜北文化センター 74,733,593円 市民ミュージアム浜北 4,642,409円				



項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	40,755	35,745	23,731
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	12,165	6,302	11,916
	収入計(A)	52,920	42,047	35,647
支出(千円)	人件費	40,410	35,228	36,740
	物件費(委託料)	57,569	57,611	57,778
	維持補修費(修繕費)	5,537	7,782	9,378
	物件費(光熱水費)	22,579	17,441	12,010
	物件費(借地料)	4,630	4,630	4,630
	支出計(B)	130,725	122,692	120,536
行政コスト(B-A)	77,805	80,645	84,889	
収支前年比	96.48	95.00	101.38	
(参考)指定管理料	79,376	81,669	84,719	
(参考)減価償却費	492	86,138	86,138	
利用状況	利用コマ数/年	39,237	33,696	26,739
	利用可能コマ数/年	117,169	115,865	109,999
	施設利用者数/年	205,831	157,680	114,094
	開館日数/年	346	346	320
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	828,017	2,968	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	大ホール舞台照明設備改修工事	45,100	2018	大ホール音響設備更新工事	34,560
2021	浜北文化センター小ホール観覧補修工事	3,894	2017	空調設備更新工事	88,560
2019	浜松市浜北文化センターユニバーサルデザイン化整備工事	8,777	2017	大ホールホワイエ窓ガラスフィルム貼工事	3,538
2019	高架水槽更新工事	16,390	2016	大・小ホール舞台幕更新工事	5,811
2019	受変電設備改修工事	37,835	2016	空調設備改修工事(第1期工事)	119,032
2018	直流電源装置更新工事	13,176	2015	防排煙設備改修工事	11,931

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-015	なゆた・浜北(浜北区役所部分以外)	地域	0.3
03-054	浜名協働センター	生活	1.4
03-053	北浜南部協働センター	生活	1.4
01-021	浜北区役所	地域	0.3
14-023	浜北消防署	地域	0.6
05-020	浜北体育館	地域	0.6
18-008	浜北防災倉庫	地域	0.7
15-139	北浜中学校	生活	0.7
15-075	伎倍小学校	生活	0.7
07-063	伎倍ひまわりクラブ	生活	0.7
13-064	下小林団地	地域	0.8



基本情報	リストNo	03-005	施設コード	02410	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	浜北文化センター			施設	浜北区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	市民ミュージアム浜北							
	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市民の文化的教養の向上に資するため(浜松市浜北文化センター条例第1条)							
		主な業務内容	貸館業務・施設を活用した事業の実施						
		主な利用者	生涯学習関連団体、高齢者団体、不特定多数の一般市民等						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		施設の老朽化により、大規模改修工事を実施予定、ニーズに合わせた工事を実施予定				中長期(今後10年程度)のニーズ予測			
		大規模改修工事を行うことにより、利用者が増加していく傾向。				特記事項			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
事業②		—	2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
事業③		—	2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の大規模改修工事が実施されることから、ハード面における課題は解消される予定							
	対応策	長寿命化指針に基づき長期利用に向けて、経年劣化に対応するため、今後施設のあり方を踏まえた上で大規模改修の実施をすすめる。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	平成18年度から指定管理施設制度を導入している。今後も、指定管理による運営を継続していく。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	7,610	7,888	8,303	1人当たりのコスト(円)	378	511	744
	施設利用率(%)	33.5	29.1	24.3	1開館日当たりのコスト(円)	224,870	233,078	265,278
	1日当たり利用者(人)	595	456	357	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	各用途別で必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分種毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
令和6年度の大規模改修に向けて必要な準備を進める。								



リストNo	03-006	施設コード	05613		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	勤労会館				
所在(町名・番地)	中区城北一丁目27				
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	産業部産業振興課 雇用・労政担当	課長名 田中 彦彦		
	施設	産業部産業振興課 雇用・労政担当	課長名 田中 彦彦		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市勤労会館条例				
設置目的	勤労者等の文化の向上及び福祉の増進を図る(浜松市勤労会館条例第1条)				
主な利用者	勤労者団体等				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~				
管理者名	浜松市勤労福祉協会・三幸共同事業体				
開館時間	9:00 ~ 21:30				
建物情報	総延床面積	3,577.49	土地面積	2,956.30	
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造		うち所有面積	2,956.30
	地上階数(主要建物)	4			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1984/2/28			
	経過年数(主要建物)	39		代表地目(現況地目)	官公庁用地
用途地域	近隣商業地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
一般財源	—	—	—		
特記事項	—				



項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	26,423	25,224	15,410
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	2,889	4,047	3,774
	収入計(A)	29,312	29,271	19,184
	支出(千円)	人件費	10,555	10,867
物件費(委託料)		10,369	9,676	9,648
維持補修費(修繕費)		2,358	2,959	4,088
物件費(光熱水費)		12,141	9,720	7,696
物件費(借地利)		0	0	0
支出計(B)	35,423	33,222	34,247	
行政コスト(B-A)	6,111	3,951	15,063	
収支前年比	154.67	26.23	190.91	
(参考)指定管理料	29,436	23,043	31,632	
(参考)減価償却費	25,235	25,235	25,235	
利用状況	利用コマ数/年	8,222	8,134	6,107
	利用可能コマ数/年	35,069	35,804	32,480
	施設利用者数/年	81,137	71,878	37,288
	開館日数/年	359	359	330
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	208,622	277,584	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	給水配管・空調設備改修工事	30,467	2014	空調設備改修工事	92,487
2020	給水設備改修工事	26,819	2014	防音化改修工事	7,247	
2020	ホール舞台照明設備改修工事	54,450	2014	LED照明導入工事	2,322	
2019	消防設備更新工事	19,604	2013	BEMS導入工事	4,614	
2019	非常用発電設備更新工事	20,411	2012	屋上防水改修工事	8,765	
2016	受変電設備改修工事	6,405	2011	電波障害対策施設撤去工事	2,000	

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-025	西部協働センター	生活	0.7
03-078	城北会館	コミュニティ	1.0
03-081	文丘集会所	コミュニティ	1.1
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	1.2
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	1.3
03-008	鴨江アートセンター	地域	1.4
03-021	和地山公園集会所	生活	1.4
03-001	アクトシティ浜松Aゾーン	広域	1.7
04-015	茶室「松韻亭」	地域	0.2
14-002	消防局・中消防署	市域	0.3
07-073	中部学園放課後児童会	生活	0.3
13-006	鹿谷(市立東)団地	地域	0.4
14-034	浜松第6分団	コミュニティ	0.5
15-006	追分小学校	生活	0.5
15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活	0.5
04-016	犀ヶ崖資料館	地域	0.5



基本情報	リストNo	03-006	施設コード	05613	所管課	本庁	産業部産業振興課 雇用・労政担当
	施設名	勤労会館		施設	産業部産業振興課 雇用・労政担当		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	だれもが働きやすい労働・雇用環境の整備					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		勤労者等の文化の向上及び福祉の増進を図る(浜松市勤労会館条例第1条)					
		主な業務内容	貸館業務・自主事業(講座等の開催)				
		主な利用者	勤労者団体等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			平成23年度をピークに施設の利用率が低下傾向にある。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			人口減少等により、需要が低下すると予測される。			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		Uホールコンサート	2022	1,186	—	438	
			2021	893	—	113	
			2020	573	—	129	
事業②		Uホールフェスタ	2022	301	—	427	
			2021	226	—	325	
			2020	467	—	555	
事業③		各種講座	2022	190	—	530	
			2021	—	—	172	
			2020	—	—	53	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	施設及び設備の老朽化が著しい。					
	対応策	令和3年度から勤労福祉施設(勤労会館と勤労青少年ホーム)のあり方検討を行った結果、勤労青少年ホームを拠点的施設として機能統合し、新たな勤労福祉施設として整備することとした。勤労会館としての建物は廃止する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	○	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	予定なし						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	1,708	1,104	4,210	1人当たりのコスト(円)	75	55	404
	施設利用率(%)	23.4	22.7	18.8	1開館日当たりのコスト(円)	17,022	11,006	45,645
	1日当たり利用者(人)	226	200	113	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
<p>令和3年度から勤労福祉施設(勤労会館と勤労青少年ホーム)のあり方検討を行った結果、勤労青少年ホームを拠点的施設として機能統合し、勤労会館は令和7年度末をもって廃止する。</p>								

リストNo	03-007	施設コード	04617	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	男女共同参画・文化芸術活動推進センター			
所在(町名・番地)	中区幸三丁目3番1号			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部UD・男女共同参画課	課長名 河合 多恵子	
	施設	市民部UD・男女共同参画課	課長名 河合 多恵子	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター条例			
設置目的	男女共同参画及び音楽、舞踊、演劇その他の文化芸術に関する活動の推進を図るため(浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター条例第1条)			
主な利用者	男女共同参画推進団体、文化芸術活動推進団体			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~			
管理者名	東海ビル管理株式会社・特定非営利活動法人浜松男女共同参画推進協会グループ			
開館時間	9:00 ~ 21:30			
建物情報	総延床面積	3,570.68	土地面積 6,667.66	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2013/9/20		
	経過年数(主要建物)	9		
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	28,664	25,725	19,363
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1,940	1,908	843
	収入計(A)	30,604	27,633	20,206
	支出(千円)	人件費	16,591	15,290
物件費(委託料)		10,970	11,545	13,324
維持補修費(修繕費)		851	539	1,283
物件費(光熱水費)		7,569	5,750	4,716
物件費(借地料)		0	0	0
支出計(B)	35,981	33,124	30,316	
行政コスト(B-A)	5,377	5,491	10,110	
収支前年比	97.92	54.31	-1740.10	
(参考)指定管理料	7,491	7,491	8,996	
(参考)減価償却費	13,552	13,552	15,191	
利用状況	利用コマ数/年	38,778	35,622	28,869
	利用可能コマ数/年	58,417	57,200	54,418
	施設利用者数/年	101,241	87,757	70,271
	開館日数/年	347	347	322
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	494,044	—	

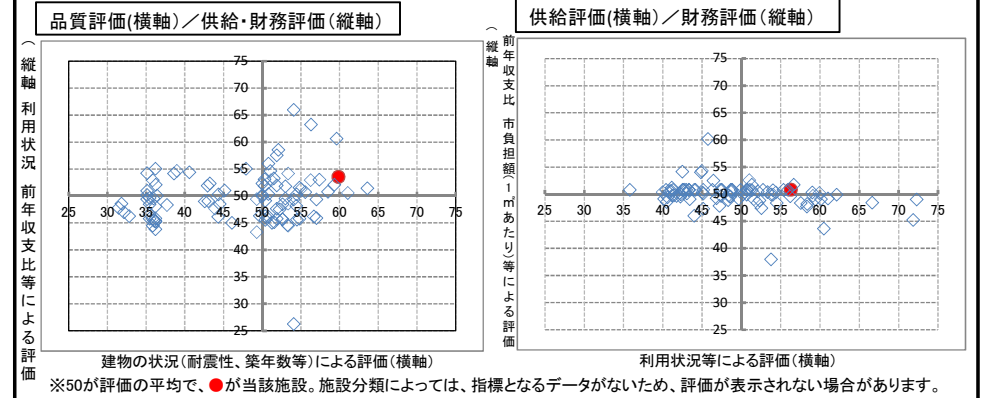
年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2013	新活動拠点施設整備工事(建築工事)	603,750			
2013	新活動拠点施設整備工事(機械設備工事)	140,804			
2013	新活動拠点施設整備工事(電気設備工事)	95,193			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-070	幸町会館	コミュニティ	0.1
03-075	和泉会館	コミュニティ	0.5
03-024	高台協働センター	生活	1.0
03-072	馬生会館	コミュニティ	1.4
03-021	和地山公園集会所	生活	1.6
03-069	金屋会館	コミュニティ	1.6
03-074	和合会館	コミュニティ	1.6
03-027	北部協働センター	生活	1.8
15-024	菟丘小学校	生活	0.6
05-001	四ツ池公園陸上競技場	広域	0.6
05-002	四ツ池公園浜松球場	広域	0.6
17-001	四ツ池公園	地域	0.6
14-008	中消防署高台出張所	地域	0.6
14-036	浜松第10分団	コミュニティ	0.6
15-020	泉小学校	生活	0.6
07-077	たかだい放課後児童会	生活	0.7



基本情報	リストNo	03-007	施設コード	04617	所管課	本庁	市民部UD・男女共同参画課
	施設名	男女共同参画・文化芸術活動推進センター			施設	本庁	市民部UD・男女共同参画課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	一人ひとりが自己実現できる男女共同参画の推進、芸術・文化の拠点の創造と発信					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		男女共同参画及び音楽、舞踊、演劇その他の文化芸術に関する活動の推進を図るため(浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター条例第1条)					
		主な業務内容	男女共同参画及び文化芸術活動の推進に関する事及びその推進を図るための施設の提供に関する事。				
		主な利用者	男女共同参画推進団体、文化芸術活動推進団体				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 少子高齢化は進んでいくが、施設設置主旨に合致する団体等の根強い活動は継続していく見込みである。						
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築年数が約10年となり、修繕を要する箇所が増えてきているところである。入館者に安全・快適に利用してもらえるよう今後も施設を適切に維持管理していく。					
	対応策	計画的に修繕等を行うとともに緊急修繕にも対応していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理者による管理運営を継続し、更新年度には、応募があった団体から最も施設の効用を発揮できる団体を選定していく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	1,506	1,538	2,831	1人当たりのコスト(円)	53	63	144
	施設利用率(%)	66.4	62.3	53.1	1開館日当たりのコスト(円)	15,496	15,824	31,398
	1日当たり利用者(人)	292	253	218	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。					
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。					
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—
当面適切な維持管理に努める。							

リストNo	03-008	施設コード	04601
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	鴨江アートセンター		
所在(町名・番地)	中区鴨江町1		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男
	施設	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市鴨江アートセンター条例		
設置目的	文化芸術に関し、創作活動、市民の交流及び情報の発信を推進し、もって市民の文化芸術活動の発展に資するため(浜松市鴨江アートセンター条例第1条)		
主な利用者	アーティスト、芸術大学に通う学生、親子連れ、近隣住民等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~		
管理者名	浜松創造都市協議会・東海ビル管理グループ		
開館時間	9:00 ~ 21:30		
建物情報	総延床面積	1,334.68	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	3	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.27	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1928/10/1	
	経過年数(主要建物)	94	
用途地域	第二種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



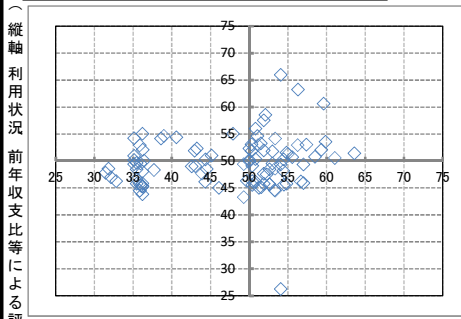
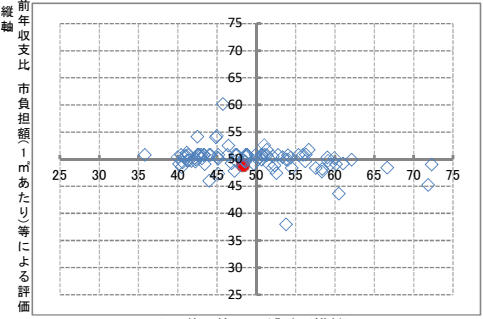
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	5,957	5,598	3,819
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1,229	2,730	752
	収入計(A)	7,186	8,328	4,571
	支出(千円)	人件費	15,754	14,987
物件費(委託料)		2,426	2,360	2,360
維持補修費(修繕費)		471	182	1,825
物件費(光熱水費)		2,672	2,089	1,689
物件費(借地料)		0	0	0
支出計(B)	21,323	19,618	19,748	
行政コスト(B-A)	14,137	11,290	15,177	
収支前年比	125.22	74.39	119.38	
(参考)指定管理料	21,450	21,450	21,450	
(参考)減価償却費	4,929	4,928	4,928	
利用状況	利用コマ数/年	—	11,250	8,926
	利用可能コマ数/年	—	30,369	28,700
	施設利用者数/年	26,004	21,743	17,337
	開館日数/年	353	353	328
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	82,372	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	浜松市鴨江アートセンター非常放送設備等設置工事	4,923			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-004	福祉交流センター	市域	0.7
03-028	県居協働センター	生活	0.9
03-001	アクトシティ浜松Aゾーン	広域	1.1
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	1.1
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	1.1
03-029	南部協働センター	生活	1.3
03-025	西部協働センター	生活	1.4
03-006	勤労会館	地域	1.4
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	0.1
04-014	浜松復興記念館	地域	0.3
15-004	西小学校	生活	0.3
22-004	夜間救急室	市域	0.4
19-002	ザザシティ駐車場	地域	0.5
13-011	東伊場団地	地域	0.6
06-001	中央図書館	市域	0.6
14-029	浜松第1分団	コミュニティ	0.6



基本情報	リストNo	03-008	施設コード	04601	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	
	施設名	鴨江アートセンター					施設	市民部創造都市・文化振興課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	芸術・文化の拠点の創造と発信						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		文化芸術に関し、創作活動、市民の交流及び情報の発信を推進し、もって市民の文化芸術活動の発展に資するため(浜松市鴨江アートセンター条例第1条)						
		主な業務内容	創作活動・文化交流事業・創造的活動推進事業開催業務、貸し館業務					
		主な利用者	アーティスト、芸術大学に通う学生、親子連れ、近隣住民等					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 周知活動の成果が表れ、利用者が増加している。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 文化創造活動の拠点として認知が高まれば、一定の需要は確保できると予想される。							
	特記事項 —							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		アーティスト イン レジデンス(関連イベント含む)	2022	—	—	3,100		
			2021	—	—	2,900		
			2020	—	—	2,180		
事業②		TALK & TALK ※2022年は6回開催	2022	—	—	66		
			2021	—	—	89		
			2020	—	—	54		
事業③	OUT OF SCHOOL ※2022年は8回開催	2022	—	—	159			
		2021	—	—	156			
		2020	—	—	143			
事業④	かもえのあさいちワークショップ ※2022年は6回開催	2022	—	—	91			
		2021	—	—	109			
		2020	—	—	72			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	築造から長期間が経過し、雨水の染込みによる壁塗装の剥がれ、ひび割れ、天井のカビ等が生じている。						
	対応策	歴史的建造物を活用した施設であるため修繕に制限があるが、状態を確認しながら慎重に修繕等を行う。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	創造都市・浜松の実現に向けた創作活動・アーティストと市民の交流・鴨江アートセンターを創造的な活動の場として情報発信するなど、ソフト事業について、民間活力の活用を基本に進める。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	10,592	8,459	11,371	1人当たりのコスト(円)	544	519	875
	施設利用率(%)	—	37.0	31.1	1開館日当たりのコスト(円)	40,048	31,983	46,271
	1日当たり利用者(人)	74	62	53	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-009	施設コード	04142		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	はまこら(市民協働センター)				
所在(町名・番地)	中区中央一丁目13-3				
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕		
	施設	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市市民協働センター条例				
設置目的	市民協働を推進するための拠点として、市民活動(市民及び事業者が自主的に参加して自発的に行う営利を目的としない活動であって社会貢献性をもつもの)を促進することにより、市民、市民活動団体、事業者及び市が協力・連携して公益の増進を図り、豊かで活力ある市民主体の地域社会を築くため				
主な利用者	市民活動団体				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2022/04/01 ~				
管理者名	浜松市民協働サポートグループ				
開館時間	9:00 ~ 21:30				
建物情報	総延床面積	1,439.14	土地面積	1,130.14	
	構造(主要建物)	鉄骨造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)		うち所有面積	1,130.14
	地上階数(主要建物)	3			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工数(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	2002/1/15			
	経過年数(主要建物)	21			
用途地域	商業地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
	設置事業費	—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	3,147	2,617	2,166
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	4,024	3,758	2,371
	収入計(A)	7,171	6,375	4,537
	人件費	25,546	26,033	25,444
支出(千円)	物件費(委託料)	382	394	469
	維持補修費(修繕費)	2,190	207	632
	物件費(光熱水費)	4,811	4,065	3,874
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	32,929	30,699	30,419
行政コスト(B-A)	25,758	24,324	25,882	
収支前年比	105.90	93.98	99.97	
(参考)指定管理料	42,233	40,057	40,057	
(参考)減価償却費	17,776	17,776	17,776	
利用状況	利用コマ数/年	5,383	4,918	4,163
	利用可能コマ数/年	23,114	18,219	16,693
	施設利用者数/年	17,424	15,164	14,469
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	210,738	285,077	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	空調設備改修工事	40,528			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	0.1
03-001	アクトシティ浜松Aゾーン	広域	0.5
03-003	勤労青少年ホーム	市域	1.0
03-008	鴨江アートセンター	地域	1.1
03-004	福祉交流センター	市域	1.2
03-006	勤労会館	地域	1.3
03-022	東部協働センター	生活	1.3
03-029	南部協働センター	生活	1.4
11-002	浜松市若者コミュニティプラザ	市域	0.0
01-005	地域情報センター	市域	0.1
17-002	新川緑地	地域	0.2
13-096	イーステージ浜松団地(特公賃)	地域	0.2
13-001	イーステージ浜松団地	地域	0.2
01-004	イーステージ浜松オフィス棟	市域	0.3
14-030	浜松第2分団	コミュニティ	0.3
10-002	ふれあい交流センター-いたや(いきいきプラザ中央)	地域	0.3



基本情報	リストNo	03-009	施設コード	04142	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	はまこら(市民協働センター)				施設	市民部市民協働・地域政策課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民協働を推進するための拠点として、市民活動(市民及び事業者が自主的に参加して自発的に行う営利を目的としない活動であって社会貢献性をもつもの)を促進することにより、市民、市民活動団体、事業者及び市が協力・連携して公益の増進を図り、豊かで活力ある市民主体の地域社会を築くため					
		主な業務内容	貸館業務・市民活動団体等の支援				
	主な利用者	市民活動団体					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		設置当初に比し、特定非営利活動法人や市民活動団体は増加しており、社会ニーズがある。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	市民活動団体等への支援の需要は高まる。				
	特記事項	民営によるシェアオフィス、レンタルスペースの増加					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		市民活動団体相互の間及び市民活動団体と関係機関、団体等との連携及び交流の促進	2022	—	—	417	
			2021	—	—	627	
			2020	—	—	464	
事業②		市民活動団体の育成に関する講座の開催業務	2022	—	—	78	
			2021	—	—	32	
			2020	—	—	35	
事業③		市民活動を行う人材の育成に関する講座等の開催業務	2022	—	—	167	
			2021	—	—	88	
			2020	—	—	61	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間との区分所有であるため、定期的な大規模修繕が予定されており、おおむね10年ごとに相当額の修繕費を必要とする。</li> <li>・コロナ禍で進展した社会のデジタル化に対応した施設としてのニーズが高まっている。</li> </ul>					
	対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専有部分については、日常点検等により不具合の早期発見に努め、適宜修繕を実施していく。</li> <li>・令和4年度から、オンライン配信等に必要デジタル機器を備えたスタジオを設置した。</li> </ul>					
記入欄	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理者による管理・運営を継続し、更新年度には、応募があった団体から最も施設の効用を発揮できる団体を選定していく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	17,898	16,902	17,984	1人当たりのコスト(円)	1,478	1,604	1,789
	施設利用率(%)	23.3	27.0	24.9	1開館日当たりのコスト(円)	71,749	67,755	72,095
	1日当たり利用者(人)	49	42	40	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用者の圏域毎の方向性	各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	民間との複合施設であることから当面適切な維持管理に努める。							



リストNo	03-010	施設コード	04149						
利用用途別分類(施設分類)	集会施設								
施設名	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)								
所在(町名・番地)	中区早馬町2-1								
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域							
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設						
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一						
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治						
設置根拠(法)	—								
条例	浜松市文化コミュニティセンター条例								
設置目的	市民の文化の向上及びコミュニティ活動の推進を図るため(浜松市文化コミュニティセンター条例第1条)								
主な利用者	市民、その他								
運営形態	指定管理者								
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~								
管理者名	(公財)浜松市文化振興財団								
開館時間	9:00 ~ 21:30								
建物情報	総延床面積	10,375.03	土地面積	3,616.68					
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造		土地情報	うち所有面積				
	地上階数(主要建物)	6				3,616.68			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				うち借地面積	0.00		
	耐震工事(主要建物)	—							
	建築年月日(主要建物)	1988/6/1						代表地目(現況地目)	宅地
	経過年数(主要建物)	34							
用途地域	商業地域								
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計						
財源	設置事業費	4,879,664	—	4,879,664					
	国・県	50,000	—	50,000					
	寄付金	—	—	—					
	その他	20,266	—	20,266					
	市債	3,255,200	—	3,255,200					
一般財源	1,554,198	—	1,554,198						
特記事項	文芸館(指定管理)、人権啓発センター(直営)等複合施設								



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	52,239	43,617	31,912
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	12,759	16,023	24,004
	収入計(A)	64,998	59,640	55,916
	支出(千円)	人件費	80,510	79,904
物件費(委託料)		75,760	61,978	59,886
維持補修費(修繕費)		13,622	6,869	245,174
物件費(光熱水費)		32,981	25,068	20,663
物件費(借地利)		0	0	0
支出計(B)	202,873	173,819	412,106	
行政コスト(B-A)		137,875	114,179	356,190
収支前年比		120.75	32.06	286.67
(参考)指定管理料		102,445	102,445	105,325
(参考)減価償却費		45,102	45,102	45,102
利用状況	利用コマ数/年	42,325	36,251	26,077
	利用可能コマ数/年	94,357	94,038	87,450
	施設利用者数/年	282,669	243,809	173,461
	開館日数/年	354	356	328
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	557,187	516,624	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	ホール移動式ステージ更新	7,663	2019	雨漏り対策工事	7,131
2020	ホール吊物制御装置更新工事	14,850	2018	クリエート浜松エレベーター改修工事	130,799
2020	ホール舞台照明設備等改修工事	96,800	2016	ホール音響設備改修工事	8,969
2020	エスカレーター改修工事	96,800	2015	中央監視装置改修工事	7,884
2020	空調自動制御装置改修工事	10,340	2014	LED照明一括導入工事	25,262
2020	受変電設備改修工事	9,020	2014	5階文芸館改修工事	19,766

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	0.1
03-001	アクトシティ浜松Aゾーン	広域	0.6
03-003	勤労青少年ホーム	市域	1.0
03-008	鴨江アートセンター	地域	1.1
03-006	勤労会館	地域	1.2
03-004	福祉交流センター	市域	1.2
03-022	東部協働センター	生活	1.4
03-029	南部協働センター	生活	1.5
11-002	浜松市若者コミュニティプラザ	市域	0.1
17-002	新川緑地	地域	0.2
13-096	イーステージ浜松団地(特公賃)	地域	0.2
13-001	イーステージ浜松団地	地域	0.2
01-005	地域情報センター	市域	0.2
01-004	イーステージ浜松オフィス棟	市域	0.2
14-030	浜松第2分団	コミュニティ	0.4
23-129	新川モール	地域	0.4



基本情報	リストNo	03-010	施設コード	04149	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)			所管課	施設	中区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	3	会計年度任用職員(人)	2	再任用(人)	1		
	複合施設	文芸館、人権啓発センター							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市民の文化の向上及びコミュニティ活動の推進を図るため(浜松市文化コミュニティセンター条例第1条)							
		主な業務内容	施設の維持管理・貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)						
		主な利用者	市民、その他						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				本市の文化・生涯学習活動の中心として、社会的ニーズは中長期的にも継続する。				
	特記事項				—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築後34年が経過し、施設全体で老朽化が進んでいる。既に交換用の部品が生産されておらず、修繕が困難な設備も存在する。							
	対応策	今後、改修計画を策定し、計画的に長寿命化を図っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
代替サービス		—	—	—	—				
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	平成18年度に指定管理者制度を導入し、今後も指定管理による運営を継続していく。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	13,289	11,005	34,331	1人当たりのコスト(円)	488	468	2,053
	施設利用率(%)	44.9	38.5	29.8	1開館日当たりのコスト(円)	389,477	320,728	1,085,945
	1日当たり利用者(人)	799	685	529	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化が進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-011	施設コード	02760		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	雄踏文化センター				
所在(町名・番地)	西区雄踏町宇布見5427				
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一		
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市雄踏文化センター条例				
設置目的	生涯学習の推進、芸術及び文化の振興並びに福祉の増進を図るため(浜松市雄踏文化センター条例第1条)				
主な利用者	生涯学習関係団体、地域活動団体、学校関係など				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~				
管理者名	東海ビル管理グループ				
開館時間	9:00 ~ 21:30				
建物情報	総延床面積	7,093.23	土地情報		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		土地面積	14,837.59
	地上階数(主要建物)	3		うち所有面積	14,837.59
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—		代表地目(現況地目)	宅地
	建築年月日(主要建物)	1989/11/30			
	経過年数(主要建物)	33			
用途地域	第二種中高層住居専用地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	令和4年8月1日から令和5年3月31日まで吊り天井落下防止対策工事のため、大ホール、楽屋1、楽屋2、楽屋3が休室				



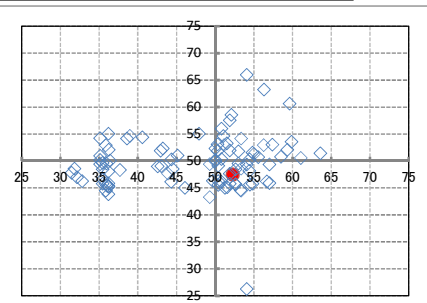
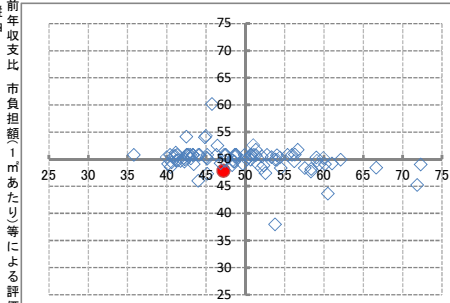
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	13,168	16,102	12,706
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	829	1,301	1,169
	収入計(A)	13,997	17,403	13,875
支出(千円)	人件費	34,552	32,694	29,111
	物件費(委託料)	15,207	15,185	16,464
	維持補修費(修繕費)	8,699	1,354	10,855
	物件費(光熱水費)	13,535	10,551	8,782
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	71,993	59,784	65,212
行政コスト(B-A)		57,996	42,381	51,337
収支前年比		136.84	82.55	146.67
(参考)指定管理料		47,862	42,970	44,820
(参考)減価償却費		26,470	26,470	26,470
利用状況	利用コマ数/年	17,760	16,836	14,243
	利用可能コマ数/年	80,457	79,820	86,036
	施設利用者数/年	66,156	72,225	57,353
	開館日数/年	354	356	330
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	717,822	329,669	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	大ホール舞台機構改修工事	128,700	2019	外壁及び屋根改修工事	76,567
2022	吊り天井落下防止対策工事	87,233	2019	中央監視装置更新工事	4,950
2022	大ホール舞台照明設備改修工事	69,300	2017	調理室空調設備改修工事	3,405
2022	給水設備改修工事	35,672	2016	第2駐車場舗装改修工事	12,608
2022	大ホール音響調整卓改修工事	3,773	2016	屋根等改修工事	14,349
2020	イベントホール調光操作卓更新工事	6,160	2016	空調設備改修工事	234,969

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
07-034	雄踏なかよし第1放課後児童会	生活	0.1	
15-047	雄踏小学校	生活	0.1	
08-017	雄踏保育園	生活	0.2	
06-009	雄踏図書館	地域	0.3	
04-036	重要文化財中村家住宅	文化財	0.5	
14-057	浜松第46分団	コミュニティ	0.5	
13-037	田端団地	地域	0.6	
21-002	雄踏斎場	地域	0.6	



基本情報	リストNo	03-011	施設コード	02760	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	雄踏文化センター				施設	西区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		生涯学習の推進、芸術及び文化の振興並びに福祉の増進を図るため(浜松市雄踏文化センター条例第1条)							
		主な業務内容	貸館業務・自主事業(イベントや講座の開催)						
		主な利用者	生涯学習関係団体、地域活動団体、学校関係など						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか								
	一定の利用者があり、需要は確保されている。								
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測								
	地域の文化活動創造の場として、社会的ニーズは中長期的にも継続する。								
特記事項									
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	西区地域力向上事業・伝統文化支援事業業務(子ども歌舞伎体験教室、子ども歌舞伎・セリフ及び所作の稽古、定期公演)	2022	1,500	—	492			
			2021	20	—	—			
			2020	—	—	—			
			2019	—	—	—			
	事業②	—	2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
	事業③	—	2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
	事業④	—	2022	—	—	—			
2021			—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築後33年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。利用者の安全確保を最優先に、修繕・改修を適宜行うなど、適切な維持管理が望まれる。							
	対応策	利用者が安全で安心できる施設を提供するため、施設・設備の老朽化に応じた計画的な改修を目指すとともに、突発的な緊急修繕についても適切に対応していく。小規模な修繕については、リスク分担に応じて指定管理者が修繕するなど、適切な維持管理に努める。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
代替サービス		—	—	—	—				
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	平成20年度に指定管理者制度を導入し、今後も指定管理による運営を継続していく。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	8,176	5,975	7,237	1人当たりのコスト(円)	877	587	895
	施設利用率(%)	22.1	21.1	16.6	1開館日当たりのコスト(円)	163,831	119,048	155,567
	1日当たり利用者(人)	187	203	174	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分種毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化が進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-012	施設コード	00937	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	みをつくし文化センター			
所在(町名・番地)	北区細江町気賀369			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	北区・まちづくり推進課	課長名 佐藤 卓	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市みをつくし文化センター条例 浜松市細江農業就業改善センター条例			
設置目的	生涯学習の推進を図り、明るい豊かな市民生活の形成に寄与するため(浜松市みをつくし文化センター条例第1条)			
主な利用者	生涯学習関係団体、地域活動団体、学校関係、官公署等			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~			
管理者名	東海ビル管理(株)			
開館時間	9:00 ~ 21:30			
建物情報	総延床面積	2,450.50	土地面積 6,580.87	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2011/2/10		
	経過年数(主要建物)	12		
用途地域	第二種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	879,269	—	879,269
財源	国・県	325,000	—	325,000
	寄付金	—	—	—
	その他	30,000	—	30,000
	市債	183,000	—	183,000
	一般財源	341,269	—	341,269
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	14,620	14,169	10,006
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	438	942	948
	収入計(A)	15,058	15,111	10,954
支出(千円)	人件費	22,533	21,887	21,719
	物件費(委託料)	1,728	1,721	1,731
	維持補修費(修繕費)	1,856	645	3,410
	物件費(光熱水費)	6,342	4,625	3,704
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	32,459	28,878	30,564	
行政コスト(B-A)		17,401	13,767	19,610
収支前年比		126.40	70.20	141.26
(参考)指定管理料		21,387	21,387	21,634
(参考)減価償却費		38,783	38,783	38,783
利用状況	利用コマ数/年	15,124	13,777	10,179
	利用可能コマ数/年	46,296	45,157	42,627
	施設利用者数/年	162,174	78,528	53,274
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	106,975	936,905	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2016	ホール出入口自動ドア設置工事	8,650			
2010	建設事業(建築工事)	330,750			
2008	外構工事	29,243			
2007	改築工事(建築工事)	219,450			
2007	改築工事(機械設備工事)	63,000			
2007	建設整備工事(電気設備工事)	39,900			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
01-017	北区役所	地域	0.1
09-006	細江健康センター	地域	0.1
08-053	中央幼稚園	生活	0.1
06-015	細江図書館	地域	0.1
04-024	気賀開所	地域	0.1
04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域	0.2
10-014	細江介護予防センター	地域	0.2
15-129	細江中学校	生活	0.4



基本情報	リストNo	03-012	施設コード	00937	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当		
	施設名	みをつくし文化センター				施設	北区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		生涯学習の推進を図り、明るい豊かな市民生活の形成に寄与するため(浜松市みをつくし文化センター条例第1条)								
		主な業務内容	貸館業務(ホール、会議室等)、生涯学習関連講座の開催							
		主な利用者	生涯学習関係団体、地域活動団体、学校関係、官公署等							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			年々利用団体は増加傾向にある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			高齢化社会に向けて、生涯学習の必要性の高まりとともに需要も伸びると思われる。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数			
			2021	—	—	—	—			
			2020	—	—	—	—			
			2019	—	—	—	—			
事業②	—	2022	—	—	—	—				
		2021	—	—	—	—				
		2020	—	—	—	—				
		2019	—	—	—	—				
事業③	—	2022	—	—	—	—				
		2021	—	—	—	—				
		2020	—	—	—	—				
		2019	—	—	—	—				
事業④	—	2022	—	—	—	—				
		2021	—	—	—	—				
		2020	—	—	—	—				
		2019	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	指定管理者制度の導入により、年々稼働率が向上してきており、多くの市民に利用されている。利用者数の増加と経年劣化により修理が必要な箇所が出てきている。								
	対応策	指定管理者制度と連絡を密にして早い段階での修繕対策を実施するとともに、計画に従った整備を実施し、施設の長寿命化を図る。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
管理主体変更		—	—	—	—					
民生導入	代替サービス	—	—	—	—					
	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—						
民生導入	平成23年度に指定管理者制度を導入し、今後も指定管理による運営を継続していく。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	7,101	5,618	8,002	1人当たりのコスト(円)	107	175	368
	施設利用率(%)	32.7	30.5	23.9	1開館日当たりのコスト(円)	48,471	38,348	54,624
	1日当たり利用者(人)	452	219	148	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-013	施設コード	00998			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	三ヶ日文化ホール					
所在(町名・番地)	北区三ヶ日町三ヶ日500-1					
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一			
	施設	北区・まちづくり推進課	課長名 佐藤 卓			
設置根拠(法)	なし					
条例	浜松市三ヶ日文化ホール条例					
設置目的	市民の文化の振興を図るため(浜松市三ヶ日文化ホール条例第1条)					
主な利用者	生涯学習関係団体、学校関係等					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	9:00～21:30					
建物情報	総延床面積	1,845.13	土地面積	3,254.40		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート一部鉄骨造		うち所有面積	3,254.40	
	地上階数(主要建物)	3			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1984/4/1				
	経過年数(主要建物)	39				
用途地域	第二種住居地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	441,736	—	441,736		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	129,600	—	129,600		
一般財源	312,136	—	312,136			
特記事項	—					



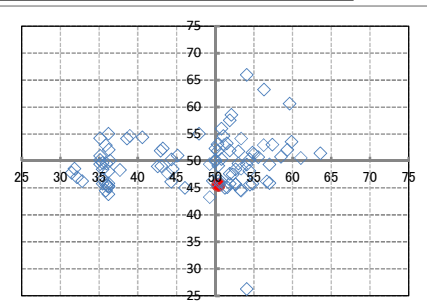
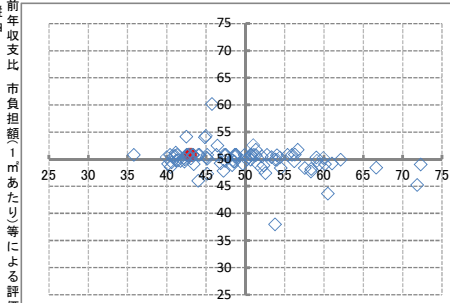
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	1,956	1,909	1,157
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	1,956	1,909	1,157
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,023	1,021	996
	維持補修費(修繕費)	636	968	2,434
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	1,659	1,989	3,430
行政コスト(B-A)	-297	80	2,273	
収支前年比	-371.25	3.52	493.06	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	15,792	15,792	15,792	
利用状況	利用コマ数/年	238	250	127
	利用可能コマ数/年	2,943	2,800	2,709
	施設利用者数/年	12,402	11,616	10,864
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	147,694	31,585	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	令和3年度浜松市三ヶ日文化ホール舞台照明設備改修工事	13,200			
2017	屋根防水工事	17,419			
2017	音響調整卓更新工事	3,758			
2015	空調熱源機更新工事	29,049			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
01-018	三ヶ日協働センター	地域	0.1
14-020	北消防署三ヶ日出張所	地域	0.2
18-065	旧三ヶ日保健センター別館	地域	0.2
14-081	三ヶ日第1分団	コミュニティ	0.2
13-055	小深田団地	地域	0.4
10-015	三ヶ日総合福祉センター	地域	0.4
06-014	三ヶ日図書館	地域	0.4
26-019	三ヶ日浄化センター	—	0.4



基本情報	リストNo	03-013	施設コード	00998	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	三ヶ日文化ホール			所管課	施設	北区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の提供							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市民の文化の振興を図るため(浜松市三ヶ日文化ホール条例第1条)							
		主な業務内容	貸館						
		主な利用者	生涯学習関係団体、学校関係等						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				本市の文化・生涯学習活動の中心として、社会的ニーズは中長期的にも継続する。				
	特記事項				—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	開館から39年が経過し、設備全般において老朽化が進んでいる。							
	対応策	施設においては、各種点検結果に基づき、必要な修繕を行い施設の延命化を図っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	○	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	○	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	管理委託などを含め、今後検討を進める。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-161	43	1,232	1人当たりのコスト(円)	-24	7	209
	施設利用率(%)	8.1	8.9	4.7	1開館日当たりのコスト(円)	-827	223	6,331
	1日当たり利用者(人)	35	32	30	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	管理主体変更	複合化	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	要検討	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努め、大規模な改修が必要となった時点で利用状況を踏まえ、他施設との複合化を検討する。								



リストNo	03-014	施設コード	00252		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	引佐多目的研修センター				
所在(町名・番地)	北区引佐町井伊谷248-186				
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一		
	施設	北区・まちづくり推進課	課長名 佐藤 卓		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市引佐多目的研修センター条例				
設置目的	農村地域における住民の生活改善及びコミュニティ活動を通じて活力ある地域づくりを図るため(浜松市引佐多目的研修センター条例第1条)				
主な利用者	生涯学習関係団体・地域活動団体等、学校関係、官公署等				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~				
管理者名	東海ビル管理(株)				
開館時間	9:00 ~ 21:30				
建物情報	総延床面積	1,528.09	土地面積	7,188.32	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	7,188.32
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1985/4/1			
	経過年数(主要建物)	38			
用途地域	市街化調整区域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	395,500	—	395,500	
	国・県	147,750	—	147,750	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
一般財源	247,750	—	247,750		
特記事項	—				



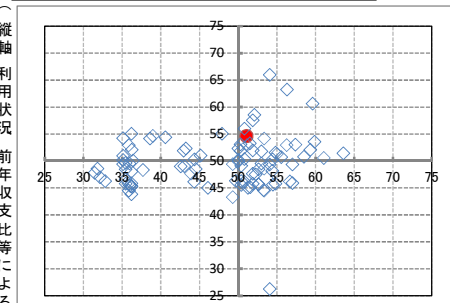
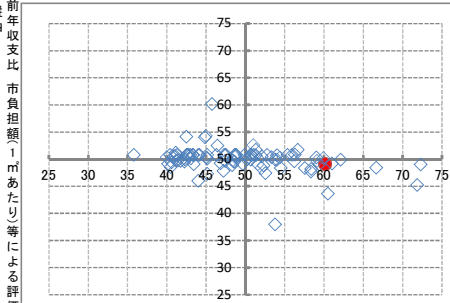
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	4,318	3,431	2,443
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	142	447	192
	収入計(A)	4,460	3,878	2,635
支出(千円)	人件費	14,296	14,205	14,014
	物件費(委託料)	1,470	814	665
	維持補修費(修繕費)	941	454	2,524
	物件費(光熱水費)	3,024	2,192	1,782
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	19,731	17,665	18,985	
行政コスト(B-A)	15,271	13,787	16,350	
収支前年比	110.76	84.32	125.74	
(参考)指定管理料	17,792	17,792	17,994	
(参考)減価償却費	4,503	3,972	3,972	
利用状況	利用コマ数/年	6,146	4,939	3,558
	利用可能コマ数/年	36,658	34,409	32,966
	施設利用者数/年	71,208	20,543	18,332
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	649
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	175,180	70,782	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	ユニバーサルデザイン化整備工事	45,729	2011	屋上防水・屋根改修工事	7,372
2017	外壁改修工事	12,556			
2014	空調熱源設備改修工事	22,275			
2014	舞台吊物機器更新工事	4,860			
2013	空調設備改修工事	39,804			
2011	ユニバーサルデザイン化整備工事	8,190			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
06-013	引佐図書館	地域	0.1
01-019	引佐協働センター	地域	0.1
18-007	引佐文化財収蔵庫	地域	0.1
04-057	浜松市地域遺産センター	地域	0.2
08-019	引佐保育園	生活	0.3
15-066	井伊谷小学校	生活	0.3
14-072	引佐第1分団井伊谷	コミュニティ	0.4
08-048	引佐幼稚園	生活	0.4



基本情報	リストNo	03-014	施設コード	00252	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	引佐多目的研修センター				施設	北区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		農村地域における住民の生活改善及びコミュニティ活動を通じて活力ある地域づくりを図るため(浜松市引佐多目的研修センター条例第1条)							
		主な業務内容	貸館業務(ホール、会議室)、生涯学習関連講座の開催						
		主な利用者	生涯学習関係団体・地域活動団体等、学校関係、官公署等						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				地域の文化事業の拠点施設として、今後もニーズはある。				
	特記事項								
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数		
		—	2021	—	—	—	—		
		—	2020	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—		
事業②	—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—			
	—	2020	—	—	—	—			
	—	2022	—	—	—	—			
事業③	—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—			
	—	2020	—	—	—	—			
	—	2022	—	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—			
	—	2020	—	—	—	—			
	—	2022	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建設から35年以上が経過し、施設・設備等の老朽化が目立つ。							
	対応策	計画的に施設整備を進めていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
管理主体変更		—	—	—	—				
代替サービス		—	—	—	—				
民活導入	統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—				
	広域化	—	—	—	—				
平成28年度から指定管理者制度を導入し、今後も指定管理による運営を継続していく。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	9,994	9,022	10,700	1人当たりのコスト(円)	214	671	892
	施設利用率(%)	16.8	14.4	10.8	1開館日当たりのコスト(円)	42,538	38,404	45,543
	1日当たり利用者(人)	198	57	51	1定員当たりのコスト(円)	—	—	25,193
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分科毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には利用状況を踏まえ、他施設との統廃合や複合化を検討する。</p>								

リストNo	03-015	施設コード	00106
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	なゆた・浜北(浜北区役所部分以外)		
所在(町名・番地)	浜北区貴布祢3000		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一
	施設	浜北区・まちづくり推進課	課長名 山本 佳弘
設置根拠(法)	都市再開発法		
条例	浜松市なゆた・浜北条例		
設置目的	生涯学習の推進と地域の活性化に資するため(浜松市なゆた浜北条例第1条)		
主な利用者	地域住民、サークル活動利用者等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~		
管理者名	浜松市文化振興財団・なゆた浜北共同事業体		
開館時間	9:00 ~ 21:30		
建物情報	総延床面積	11,908.04	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	3	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2001/3/10	
	経過年数(主要建物)	22	
用途地域	商業地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	(指定管理料 内訳) なゆた・浜北 15,312,409円 浜北図書館 99,030,000円		



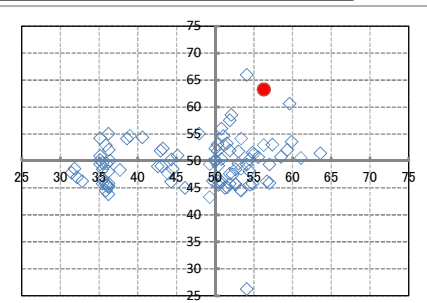
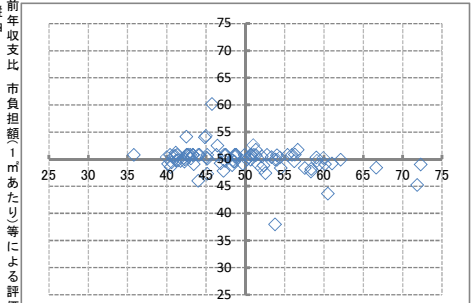
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	22,430	18,521	13,768
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	2,977	1,905	1,161
	収入計(A)	25,407	20,426	14,929
支出(千円)	人件費	64,792	65,270	63,801
	物件費(委託料)	18,363	17,582	18,560
	維持補修費(修繕費)	1,568	8,855	4,604
	物件費(光熱水費)	20,158	13,836	11,239
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	104,881	105,543	98,204	
行政コスト(B-A)	79,474	85,117	83,275	
収支前年比	93.37	102.21	107.26	
(参考)指定管理料	114,342	111,135	111,666	
(参考)減価償却費	44,939	44,939	44,939	
利用状況	利用コマ数/年	8,599	8,287	6,680
	利用可能コマ数/年	16,597	16,327	15,434
	施設利用者数/年	396,742	378,386	327,217
	開館日数/年	347	347	322
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	323,074	340,215	292,114
	蔵書数	245,127	242,475	241,650
	入居戸数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	1,258,286	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2018	地下駐車場発券機更新工事	3,240			
2014	舞台機構修繕工事	3,240			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-005	浜北文化センター	市域	0.3
03-054	浜名協働センター	生活	1.2
03-053	北浜南部協働センター	生活	1.2
同分類			
その他の分類			
01-021	浜北区役所	地域	0.0
18-008	浜北防災倉庫	地域	0.6
14-023	浜北消防署	地域	0.6
05-020	浜北体育館	地域	0.7
14-085	浜名分団小松	コミュニティ	0.8
15-081	北浜小学校	生活	0.8
15-139	北浜中学校	生活	0.9
14-150	北浜分団・北浜小学校放課後児童会複合施設(分団庁舎)	コミュニティ	0.9



基本情報	リストNo	03-015	施設コード	00106	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	なゆた・浜北(浜北区役所部分以外)			施設	浜北区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	浜北図書館							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		生涯学習の推進と地域の活性化に資するため(浜松市なゆた浜北条例第1条)							
		主な業務内容	音楽を中心とした発表会など地域文化振興に資する事業						
		主な利用者	地域住民、サークル活動利用者等						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		浜北区役所移転に伴う改修工事のため、H28年度より貸出範囲が縮小。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		施設利用ニーズは引続き高まる状況と見込むが、時代に合った機器等の更新が必要となる。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2019	—	—	—	—		
事業②	—	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
		2019	—	—	—	—			
事業③	—	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
		2019	—	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
		2019	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築後20年以上が経過し、一部設備等に修繕が必要となっている							
	対応策	施設維持のため、緊急性の高いものから計画的に修繕を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
管理主体変更		—	—	—	—				
代替サービス		—	—	—	—				
民活導入	統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	平成31年度から、浜北文化センター・市民ミュージアム浜北と併せて指定管理施設となったため、今後も指定管理による運営を継続していく。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	6,674	7,148	6,993	1人当たりのコスト(円)	200	225	254
	施設利用率(%)	51.8	50.8	43.3	1開館日当たりのコスト(円)	229,032	245,294	258,618
	1日当たり利用者(人)	1,143	1,090	1,016	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	131.8	140.3	120.9	1貸出冊当たりのコスト(円)	246	250	285
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
<p>民間との複合施設であることから当面適切な維持管理に努める。</p>								

リストNo	03-016	施設コード	01989			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	天竜壬生ホール					
所在(町名・番地)	天竜区二俣町二俣20-2					
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一			
	施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名 森田 修			
設置根拠(法)	なし					
条例	浜松市天竜壬生ホール条例					
設置目的	生涯学習の推進及び芸術文化の振興を図るため(浜松市天竜壬生ホール条例第1条)					
主な利用者	小学生から一般					
運営形態	指定管理者					
指定管理または包括管理委託等の期間	2022/04/01 ~					
管理者名	(公財)浜松市文化振興財団					
開館時間	9:00 ~ 21:30					
建物情報	総延床面積	4,371.64	土地面積	16,396.62		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	15,258.65	
	地上階数(主要建物)	5			うち借地面積	1,137.97
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2002/8/31				
	経過年数(主要建物)	20				
用途地域	近隣商業地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
設置事業費	2,489,343	575,879	3,065,222			
財源	国・県	1,800	—	1,800		
	寄付金	25,125	—	25,125		
	その他	—	—	—		
	市債	1,950,100	—	1,950,100		
	一般財源	512,318	575,879	1,088,197		
特記事項	—					



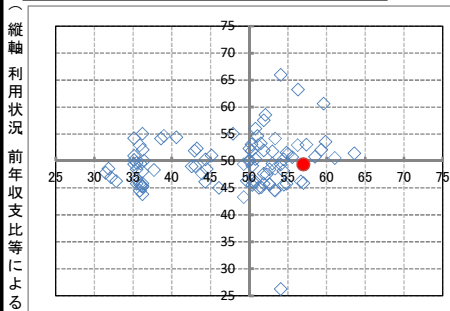
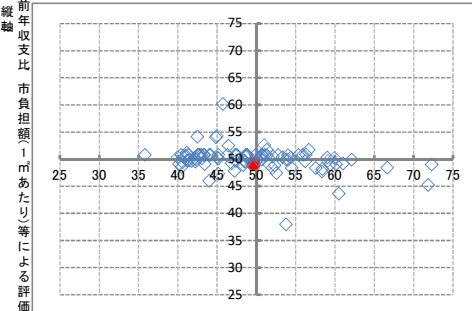
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	9,004	7,381	5,175
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	4,908	3,496	5,731
	収入計(A)	13,912	10,877	10,906
支出(千円)	人件費	19,668	19,848	20,370
	物件費(委託料)	21,958	20,483	20,281
	維持補修費(修繕費)	4,022	5,482	5,140
	物件費(光熱水費)	12,990	9,198	7,367
	物件費(借地料)	506	533	533
	支出計(B)	59,144	55,544	53,691
行政コスト(B-A)		45,232	44,667	42,785
収支前年比		101.26	104.40	115.17
(参考)指定管理料		48,500	44,786	42,695
(参考)減価償却費		64,242	64,242	64,242
利用状況	利用コマ数/年	7,035	5,868	6,309
	利用可能コマ数/年	29,533	29,591	28,094
	施設利用者数/年	67,791	48,635	42,774
	開館日数/年	347	348	345
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	520,473	1,284,843	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	舞台装置更新工事	19,525	2018	監視カメラ設備機器更新工事	15,757
	2022	特定小電力無線機器更新工事	3,938	2013	舞台吊物ワイヤーロープ取替工事	5,303
	2021	令和3年度 浜松市天竜壬生ホールホワイエ空間設備更新工事	17,050	2011	舞台吊物昇降装置引継線ケーブル及びワイヤーロープ取替工事	8,295
	2021	令和3年度 浜松市天竜壬生ホール舞台設備主シープ取替工事	4,510			
	2020	令和2年度 浜松市天竜壬生ホールLPガスバルク貯槽更新工事	3,630			
2018	吊り天井落下防止対策工事	35,046				

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-058	二俣協働センター	生活	0.6
同分類			
その他の分類			
14-094	天竜第1分団城下	コミュニティ	0.6
15-096	二俣小学校	生活	0.7
07-067	ふたまた児童クラブ	生活	0.7
04-012	秋野不矩美術館	市域	0.7
26-033	阿蔵中継ポンプ場	—	0.8
04-044	田代家住宅	文化財	0.8
04-047	二俣歴史散策路	小規模等	0.8
04-042	ものづくり伝承館	文化財	0.8



基本情報	リストNo	03-016	施設コード	01989	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	天竜壬生ホール			施設	天竜区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		生涯学習の推進及び芸術文化の振興を図るため(浜松市天竜壬生ホール条例第1条)							
		主な業務内容	芸術文化公演、講演会、展示会、研修会、講座等の開催。各種団体、関係機関等との連絡調整。集会、展示等のための施設提供。						
		主な利用者	小学生から一般						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		一定の利用者があり需要は確保されている。				一定の利用者があり需要は確保されている。			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も一定の利用が予想される。			
		特記事項				中山間地域に所在			
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	芸術普及事業(講座等の開催機会を提供)	2022	①~③合計10,835	不定数	3,427			
			2021	①~③合計15,301	不定数	3,471			
			2020	①~③合計14,332	不定数	3,262			
	事業②	芸術普及事業(地域に根ざした市民参加型発表会の提供)	2022	—	不定数	2,507			
			2021	—	不定数	1,984			
			2020	—	不定数	1,694			
	事業③	文化振興事業	2022	—	不定数	523			
			2021	—	不定数	240			
			2020	—	不定数	822			
事業④	—	2022	—	—	—				
		2021	—	—	—				
		2020	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課	課題	平成14年に建設され、舞台装置等施設設備の経年劣化等により交換修繕を必要とする箇所が増加している。							
	対応策	各種点検結果に基づき、計画的に長寿命化できるように修繕等を実施していく。また、技術スタッフを常駐させ、施設の維持管理や運営にあたることで、利用者の安全確保と利用しやすい施設運営を心がけていく。							
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
管理主体変更		—	—	—	—				
記入欄	代替サービス	—	—	—	—				
	統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	将来的に他の施設機能との複合化を検討していく。				
広域化	—	—	—	—					
民活導入	平成29年度より指定管理制度を導入								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	10,347	10,217	9,787	1人当たりのコスト(円)	667	918	1,000
	施設利用率(%)	23.8	19.8	22.5	1開館日当たりのコスト(円)	130,352	128,353	124,014
	1日当たり利用者(人)	195	140	124	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)		
参考	 <p>縦軸 前年収支比率 横軸 前年収支比率</p>				 <p>縦軸 前年収支比率 横軸 前年収支比率</p>			
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-017	施設コード	01220	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	春野文化センター			
所在(町名・番地)	天竜区春野町宮川1768			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名 森田 修	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市春野文化センター条例			
設置目的	生涯学習の推進、芸術、文化及び産業の振興並びに福祉の増進を図るため(浜松市春野文化センター条例第1条)			
主な利用者	各種文化団体、カルチャー講座参加者、自主事業入場者			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00 ～ 21:00			
建物情報	総延床面積	1,760.89	土地面積 8,717.43	
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1985/8/1		
	経過年数(主要建物)	37		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	426,490	—	426,490
	国・県	205,647	—	205,647
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	220,843	—	220,843	
特記事項	令和4年10月16日受変電設備改修工事で終日停電となるため休館した。			



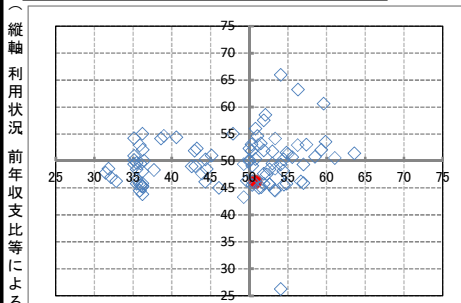
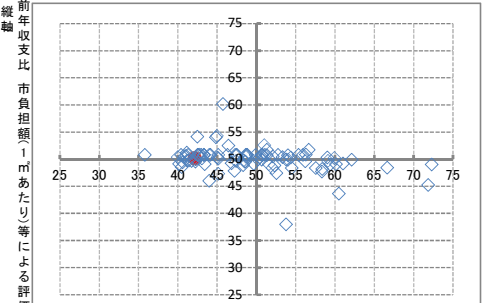
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	402	298	227
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	80	303	244
	収入計(A)	482	601	471
支出(千円)	人件費	20,400	24,600	24,600
	物件費(委託料)	3,773	4,260	3,961
	維持補修費(修繕費)	3,532	1,327	3,381
	物件費(光熱水費)	3,729	2,612	2,776
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	31,434	32,799	34,718	
行政コスト(B-A)		30,952	32,198	34,247
収支前年比		96.13	94.02	102.65
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		14,714	14,714	14,714
利用状況	利用コマ数/年	2,431	2,146	942
	利用可能コマ数/年	20,256	18,951	13,392
	施設利用者数/年	7,110	5,135	4,801
	開館日数/年	298	301	279
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	56,541	44,142	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	空調熱源工事	52,140			
2022	受変電設備改修工事	24,072			
2019	吊り天井落下防止対策及び外壁・屋根改修工事	94,160			
2015	舞台吊物ワイヤー交換工事	2,916			
2013	防水改修工事	4,260			
2008	吹付石綿除去工事(急施工事)	9,135			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-029	白井鐵道記念館	地域	0.0
04-054	天狗下駄展示場	小規模等	0.0
25-046	宮川水道倉庫	—	0.5
26-022	気田浄化センター	—	0.6
21-007	春野斎場	地域	0.6
14-126	春野第3分団宮川	コミュニティ	0.8
14-026	天竜消防署春野出張所・防災センター	地域	1.0
01-025	春野協働センター	地域	1.0



基本情報	リストNo	03-017	施設コード	01220	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	春野文化センター			施設	天竜区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	1		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		生涯学習の推進、芸術、文化及び産業の振興並びに福祉の増進を図るため(浜松市春野文化センター条例第1条)							
		主な業務内容	文化・芸術イベントの開催、貸館利用						
		主な利用者	各種文化団体、カルチャー講座参加者、自主事業入場者						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	減少はしているが、一定数の利用が確保されている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	人口減少等により利用者の減少が予想される。						
		特記事項	中山間地域に所在						
	主な事業	事業①	市民講座	2022	140	142	139		
はじめてのスマホ講座、羊毛フェルト講座、つるかごづくり教室、はじめての太極拳、フラワーアレンジメント講座の実施			2021	147	216	133			
事業②		地域ふれあいフェスタ(春野文化センターまつり)	2022	90	不定数	414			
		R2、R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	2021	90	—	—			
		2020	90	—	—				
事業③		その他自主事業	2022	—	不特定	不定数			
		「春野の近代化遺産～気多森林鉄道～」市民作品コーナー	2021	—	不定数	不定数			
		2020	—	不定数	663				
事業④		—	2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
		2020	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築後35年以上が経過し、施設の老朽化及び施設内、外構等に一部沈下があり、修繕が必要となっている。							
		日常のメンテナンスを丁寧に行うとともに、必要な修繕を行い施設の延命化を図っていく。							
	対応策	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	○	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	資産の見直し	複合化	—	—	○	—			
		広域化	—	—	—	—			
民活導入	NPO法人春野のえがおへ一部管理を委託している。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	17,577	18,285	19,449	1人当たりのコスト(円)	4,353	6,270	7,133
	施設利用率(%)	12.0	11.3	7.0	1開館日当たりのコスト(円)	103,866	106,970	122,749
	1日当たり利用者(人)	24	17	17	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	管理主体変更	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	要検討	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等が必要となった時点において、人口減少等による利用状況の変化があった場合は、その状況に応じてさらなる複合化や規模適正化など検討する。								



リストNo	03-018	施設コード	01505	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	水窪文化会館			
所在(町名・番地)	天竜区水窪町奥領家3274-1			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名 森田 修	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市水窪文化会館条例			
設置目的	生涯学習の推進、芸術、文化及び産業の振興並びに福祉の増進を図るため(浜松市水窪文化会館条例第1条)			
主な利用者	各種文化団体、カルチャー講座参加者、自主事業入場者			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	1,985.61	土地面積 2,966.85	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1996/3/31		
	経過年数(主要建物)	27		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	817,166	—	817,166
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	817,166	—	817,166	
特記事項	—			



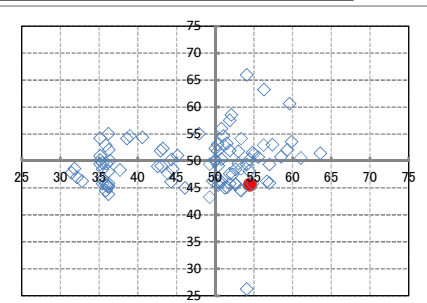
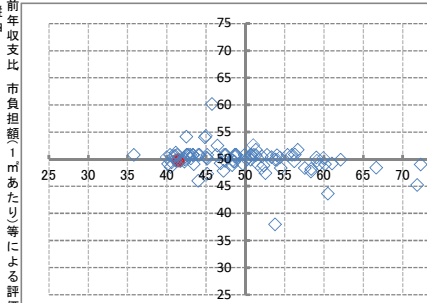
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	342	287	140
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	68	108	102
	収入計(A)	410	395	242
支出(千円)	人件費	17,574	16,800	17,600
	物件費(委託料)	3,581	3,722	3,714
	維持補修費(修繕費)	2,725	3,155	2,437
	物件費(光熱水費)	4,087	3,673	3,553
	物件費(借地料)	816	816	816
	支出計(B)	28,783	28,166	28,120
行政コスト(B-A)		28,373	27,771	27,878
収支前年比		102.17	99.62	83.02
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		20,738	20,738	20,738
利用状況	利用コマ数/年	525	596	390
	利用可能コマ数/年	9,693	9,837	9,288
	施設利用者数/年	6,509	5,573	4,585
	開館日数/年	359	359	344
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	2,383	2,577	2,336
	蔵書数	16,197	15,921	15,867
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	9	267,844	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2019	浜松市水窪文化会館外壁及び屋根改修工事	49,500			
2018	吊り天井落下防止対策工事	43,933				
2015	中央監視装置更新工事	2,592				
2008	下水道切替工事	3,498				

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
01-028	水窪協働センター	地域	0.1	
04-055	水窪観光展示休憩所	小規模等	0.1	
05-046	水窪グラウンド管理棟	小規模等	0.4	
14-145	水窪第2分団第2部小畑詰所ほか2施設	コミュニティ	0.4	
25-021	旧簡易水道新道	—	0.4	
02-010	神原市有住宅	地域	0.5	
02-004	神原下教職員住宅	地域	0.6	
02-005	神原上教職員住宅	地域	0.6	



基本情報	リストNo	03-018	施設コード	01505	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	水窪文化会館			施設	天竜区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	—	
複合施設		水窪図書館						
関連政策名		生涯学習を享受できる機会の充実						
施設運営分析	設置目的(再掲)							
	生涯学習の推進、芸術、文化及び産業の振興並びに福祉の増進を図るため(浜松市水窪文化会館条例第1条)							
	主な業務内容		文化・芸術イベントの開催、貸館利用					
	主な利用者		各種文化団体、カルチャー講座参加者、自主事業入場者					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				減少はしているが、一定数の利用が確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				人口減少等により利用者の減少が予想される。			
	特記事項				中山間地域に所在			
	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
					のべ募集人員	参加者数		
主な事業	事業①	子ども講座、生きがいつくり講座、学習成果活用事業、共催事業、地域ふれあいイベント、貸館等	2022	—	3,276	3,276		
			2021	—	2,029	2,029		
			2020	—	1,472	1,472		
			2022	—	—	—	—	
	事業②	—	2021	—	—	—		
	事業③	—	2020	—	—	—		
	事業④	—	2022	—	—	—		
		—	2021	—	—	—		
		—	2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成7年度建設、平成8年度の閉館後20年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいる。						
	対応策	日常のメンテナンスを丁寧に行うことにより施設の延命化を図っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管		—	—	—	—			
管理主体変更		—	—	○	—			
代替サービス		—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	○	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	地域活性化団体よかつらみさくぼへ一部管理を委託している。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	14,289	13,986	14,040	1人当たりのコスト(円)	4,359	4,983	6,080	
	施設利用率(%)	5.4	6.1	4.2	1開館日当たりのコスト(円)	79,033	77,357	81,041	
	1日当たり利用者(人)	18	16	13	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	14.7	16.2	14.7	1貸出冊当たりのコスト(円)	11,906	10,776	11,934	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者等の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化が進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	管理主体変更	—	—	—	—		
		2民活導入	(1)維持管理	要検討	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等が必要となった時点において、人口減少等による利用状況の変化があった場合は、その状況に応じてさらなる複合化や規模適正化など検討する。</p>									



基本情報	リストNo	03-019	施設コード	02802	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当		
	施設名	龍山森林文化会館				施設	天竜区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	1			
	複合施設	龍山図書館								
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		市民の芸術及び文化の振興並びに福祉の増進を図るため(浜松市龍山森林文化会館条例第1条)。								
		主な業務内容	貸し館業務、自主事業(講座・展示等の企画、開催)							
		主な利用者	文化活動団体、社会福祉団体							
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか								
		定期的な利用者があり、需要は確保されている。				中長期(今後10年程度)のニーズ予測				
		人口減少等により利用者の減少が予想される。				特記事項				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
		事業①	龍山文化講演会等の開催	2022	655	—	参加者数	140		
2021				583	—	参加者数	71			
2020				—	—	参加者数	—			
事業②		龍山ふれあい文化祭開催	2022	200	—	参加者数	184			
			2021	200	—	参加者数	108			
			2020	41	—	参加者数	114			
事業③		生涯学習教室の開催	2022	79	—	参加者数	56			
			2021	86	—	参加者数	68			
			2020	95	—	参加者数	76			
事業④	—	2022	—	—	参加者数	—				
		2021	—	—	参加者数	—				
		2020	—	—	参加者数	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	本施設は平成2年に開館しており、設備の全般において老朽化が進んできている。								
	対応策	施設においては中長期修繕計画や各種点検結果に基づき長寿命化できるよう修繕等を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	○	—				
代替サービス		—	—	—	—					
統廃合	—	—	—	—						
複合化	—	—	○	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	NPO法人ほっと龍山へ一部管理を委託している。また、講座開催事業等についても協力を得て実施している。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	11,547	10,888	10,963	1人当たりのコスト(円)	3,471	3,737	4,023
	施設利用率(%)	3.5	2.9	1.9	1開館日当たりのコスト(円)	59,993	58,610	67,272
	1日当たり利用者(人)	17	16	17	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	4.6	3.3	3.3	1貸出冊当たりのコスト(円)	47,828	59,252	60,996
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p> <p>利用用途別分種毎の方向性</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	管理主体変更	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	要検討	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等が必要となった時点において、人口減少等による利用状況の変化があった場合は、さらなる複合化や規模適正化など検討する。							



基本情報	リストNo	03-020	施設コード	01204	所管課	本庁	都市整備部公園管理事務所
	施設名	春野ふれあい公園集会所				施設	都市整備部公園管理事務所
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	都市公園・緑地の整備					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の福祉の増進並びに体育及び生活文化の向上資すること(公園条例第1条)					
		主な業務内容	貸出、貸館(研修室等)業務。自主事業				
		主な利用者	一般				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用があり、需要は確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者の多くが一般利用者であり、ニーズに大きな変化はないと考える。			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設・設備の老朽化により、故障の発生や修繕が必要な箇所が多くなってきている。					
	対応策	施設・設備の老朽化により、故障の発生や修繕が必要な箇所が多くなってきているが、市民サービスの低下や貸し館業務の支障にならないよう計画的に改修工事や修繕を行う必要がある。可能な限り指定管理者により修繕・補修等を行っているが、引き続き、民間企業のノウハウ等を最大限に活用し、質の高い公園の提供により、利用者が気持ちよく施設を利用できるようにして、公園利用者の拡大や費用対効果の向上に努める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理者制度導入施設であり、ニーズにあった自主事業の展開など、公園としての公用発揮、有効活用の推進に努める。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	13,201	13,965	14,674	1人当たりのコスト(円)	27,755	31,620	—
	施設利用率(%)	5.1	4.8	—	1開館日当たりのコスト(円)	39,193	41,461	—
	1日当たり利用者(人)	1	1	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には利用状況を踏まえ、統廃合も検討する。</p>								

リストNo	03-021	施設コード	02865			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	和地山公園集会所					
所在(町名・番地)	中区和地山三丁目2-8					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	公園			
所管課	本庁	都市整備部公園管理事務所	課長名 高林 繁			
	施設	都市整備部公園管理事務所	課長名 高林 繁			
設置根拠(法)	都市公園法					
条例	浜松市都市公園条例					
設置目的	都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること(都市公園法第1条)					
主な利用者	一般					
運営形態	指定管理者					
指定管理または包括管理委託等の期間	2020/04/01 ~					
管理者名	ビル保養・公園緑地協会グループ					
開館時間	9:00 ~ 21:00					
建物情報	総延床面積	548.21	土地面積	87,471.53		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	17,405.19	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	70,066.34
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		代表地目(現況地目)		公園
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2016/11/28				
経過年数(主要建物)	6					
用途地域	第一種中高層住居専用地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—			
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	7,538	7,317	6,671
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1,738	1,622	1,796
	収入計(A)	9,276	8,939	8,467
	支出(千円)	人件費	22,438	23,441
	物件費(委託料)	409	544	2,931
	維持補修費(修繕費)	9,288	5,254	2,088
	物件費(光熱水費)	2,736	0	2,249
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	34,871	29,239	28,556
	行政コスト(B-A)	25,595	20,300	20,089
	収支前年比	126.08	101.05	106.21
	(参考)指定管理料	25,076	25,115	25,090
	(参考)減価償却費	3,354	3,354	3,354
利用状況	利用コマ数/年	9,543	8,743	7,359
	利用可能コマ数/年	17,232	17,232	17,232
	施設利用者数/年	30,049	30,683	22,984
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,449,505	76,923	—	

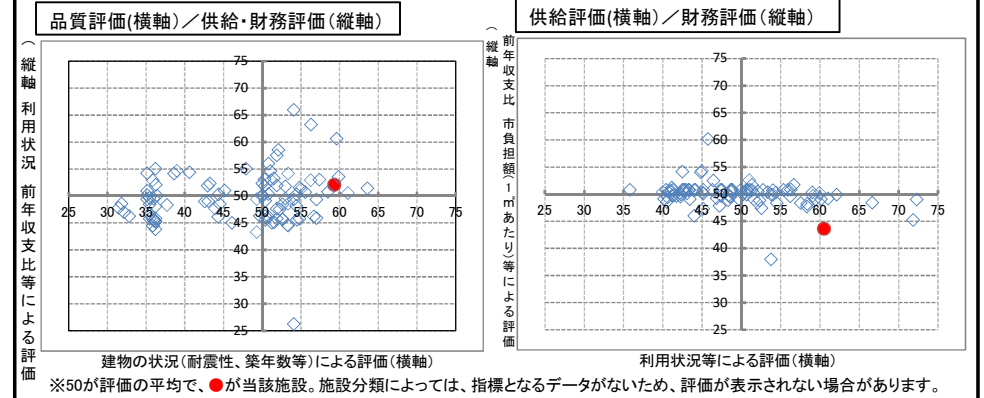
主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-024	高台協働センター	生活	0.7
03-072	馬生会館	コミュニティ	0.7
03-081	文丘集会所	コミュニティ	0.7
03-078	城北会館	コミュニティ	0.8
03-074	和合会館	コミュニティ	1.1
03-006	勤労会館	地域	1.4
03-023	富塚協働センター	生活	1.5
03-070	幸町会館	コミュニティ	1.5
06-002	城北図書館	市域	0.1
13-017	和合(馬生)団地	地域	0.4
07-010	城北第2放課後児童会	生活	0.4
15-018	城北小学校	生活	0.4
15-108	北部中学校	生活	0.5
13-009	住吉二丁目団地	地域	0.5
01-007	計量検査所	市域	0.8
21-001	浜松斎場	地域	0.8



基本情報	リストNo	03-021	施設コード	02865	所管課	本庁	都市整備部公園管理事務所
	施設名	和地山公園集会所				施設	都市整備部公園管理事務所
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	都市公園・緑地の整備					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること(都市公園法第1条)					
		主な業務内容	貸館(ホール・会議室)業務。自主事業				
		主な利用者	一般				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		利用者の多くが一般利用者であり、ニーズに大きな変化はないと考える。				
	特記事項		平成28年度に建替え				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし					
	対応策	平成28年度に集会所の建替工事を実施。引き続き、民間企業のノウハウ等を最大限に活用し、質の高い公園の提供により、利用者が気持ちよく施設を利用できるようにして、公園利用者の拡大や費用対効果の向上に努める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理者制度導入施設であり、ニーズにあった自主事業の展開など、公園としての公用発揮、有効活用の推進に努める。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	46,688	37,030	36,645	1人当たりのコスト(円)	852	662	874
	施設利用率(%)	55.4	50.7	42.7	1開館日当たりのコスト(円)	71,295	56,546	55,958
	1日当たり利用者(人)	84	85	64	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



**参考** 利用者の圏域毎の方向性  
 地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性  
 今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他

平成28年度改築実施。当面適切な維持管理に努める。



施設カルテ 2023

リストNo	03-022	施設コード	04490		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	東部協働センター				
所在(町名・番地)	中区相生町23-1				
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕		
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市協働センター条例				
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。				
主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	8:30 ～ 21:30				
建物情報	総延床面積	1,320.15	土地情報		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		土地面積	2,905.52
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積	2,730.74
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		うち借地面積	174.78
	耐震工事(主要建物)	—		代表地目(現況地目)	官公庁用地
	建築年月日(主要建物)	2014/3/11			
	経過年数(主要建物)	9			
用途地域	近隣商業地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
設置事業費	286,705	—	286,705		
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	286,705	—	286,705	
特記事項	—				



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	2,665	2,502	2,202
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	363	451	446
	収入計(A)	3,028	2,953	2,648
	人件費	42,000	42,000	42,800
支出(千円)	物件費(委託料)	1,317	1,791	2,450
	維持補修費(修繕費)	692	1,070	244
	物件費(光熱水費)	2,702	2,273	2,166
	物件費(借地料)	213	213	213
	支出計(B)	46,924	47,347	47,873
行政コスト(B-A)	43,896	44,394	45,225	
収支前年比	98.88	98.16	106.32	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	6,432	6,432	6,432	
利用状況	利用コマ数/年	11,768	6,204	8,655
	利用可能コマ数/年	28,818	27,940	29,104
	施設利用者数/年	38,710	36,763	33,587
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	366	321
	蔵書数	—	195	195
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	203,004	231,786	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2013	改築工事(建築工事)	290,863			
2013	改築工事(機械設備工事)	62,824			
2013	改築工事(電気設備工事)	33,218			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-077	江東会館	コミュニティ	0.6
03-003	勤労青少年ホーム	市域	1.0
03-001	アクトシティ浜松Aゾーン	広域	1.2
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	1.3
03-031	蒲協働センター	生活	1.3
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	1.4
03-029	南部協働センター	生活	1.8
14-007	中消防署相生出張所・浜松第7分団	地域	0.3
26-036	木戸雨水ポンプ場	—	0.4
13-022	富吉団地改良住宅	地域	0.5
18-002	北寺島倉庫	地域	0.6
08-009	なのはな保育園	生活	0.7
14-033	浜松第5分団	コミュニティ	0.7
15-022	相生小学校	生活	0.7
11-003	子育て情報センター	市域	0.7



基本情報	リストNo	03-022	施設コード	04490	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課			
	施設名	東部協働センター			施設	中区・まちづくり推進課				
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	10	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。								
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援。届書の受付や証明書の発行を行う。							
		主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など							
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか								
		一定かつ継続的な利用者があり需要は確保されている。								
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズは増すと思われる。							
		特記事項	生涯学習、地域コミュニティの拠点として必要不可欠な施設である。							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	地域ふれあい事業(協働センターまつり)	2022	715	—	1,700				
			2021	440	—	700				
			2020	20	—	80				
	事業②	地域文化セミナー	2022	154	197	171				
			2021	129	155	135				
			2020	81	126	223				
	事業③	子ども講座	2022	88	166	170				
			2021	57	127	100				
			2020	83	88	73				
事業④	アクティブ・シニア講座	2022	79	420	247					
		2021	38	288	163					
		2020	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課	課題	利用団体数に対し駐車場が手狭なため、満車のため利用者が駐車できなくなる場合がある。附設体育館が約3km離れた飯田町にあるため、体育館利用者が勘違いをして相生町の東部協働センターへ来館される事例が散見される。								
	対応策	施設の予約状況を踏まえ、利用団体への駐車場利用台数確認や乗り合わせをお願いしている。施設情報を掲載している冊子やホームページに、附設体育館の住所を掲載して注意喚起を行っている。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
民間移管		—	—	—	—					
管理主体変更		—	—	—	—					
記入欄	民生導入	代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
		広域化	—	—	—	—				
民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	33,251	33,628	34,257	1人当たりのコスト(円)	1,134	1,208	1,347
	施設利用率(%)	40.8	22.2	29.7	1閉館日当たりのコスト(円)	122,273	123,660	125,975
	1日当たり利用者(人)	108	102	94	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	187.7	164.6	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	121,295	140,888
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-023	施設コード	04492		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	富塚協働センター				
所在(町名・番地)	中区富塚町1740-1				
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕		
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市協働センター条例				
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。				
主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、自治会、地区社会協議会、小学生、中学生、高校生、その他地域住民				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	—				
管理者名	—				
開館時間	8:30 ~ 21:30				
建物情報	総延床面積	2,184.00	土地面積	5,343.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	4,537.00
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	806.00
	建築年月日(主要建物)	1983/3/1			
	経過年数(主要建物)	40		代表地目(現況地目)	官公庁用地
用途地域	第一種低層住居専用地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	356,100	—	356,100	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
一般財源	356,100	—	—	356,100	
特記事項	—				



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	3,685	3,825	3,430
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	506	695	714
	収入計(A)	4,191	4,520	4,144
	人件費	34,400	34,400	34,400
支出(千円)	物件費(委託料)	1,657	1,696	2,558
	維持補修費(修繕費)	1,369	6,835	2,314
	物件費(光熱水費)	4,349	3,818	3,308
	物件費(借地料)	1,200	1,200	1,200
	支出計(B)	42,975	47,949	43,780
行政コスト(B-A)	38,784	43,429	39,636	
収支前年比	89.30	109.57	103.37	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	17,650	17,650	17,650	
利用状況	利用コマ数/年	15,893	14,896	14,671
	利用可能コマ数/年	38,151	39,451	33,808
	施設利用者数/年	71,186	85,121	51,521
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	247	186
	蔵書数	—	3,459	3,510
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	279,337	116,088	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	空調設備改修工事	44,785	2015	空調設備修繕工事	5,206
2019	浜松市富塚協働センター受電設備改修工事	11,000	2011	ユニバーサルデザイン化整備工事	4,223
2017	ユニバーサルデザイン化整備工事	51,933	2009	附設体育館屋根防水工事	7,856
2016	外壁改修工事	14,330	2008	冷温水発生器改修工事(機械設備工事)	6,720
2015	※(注)修繕費(持主)又は(注)修繕費(持主)等(修繕費)工事(富塚協働センター)工事	14,637			
2015	※(注)修繕費(持主)又は(注)修繕費(持主)等(修繕費)工事(富塚協働センター)工事	33,993			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-073	富塚西会館	コミュニティ	0.7
03-081	文丘集会所	コミュニティ	1.0
03-078	城北会館	コミュニティ	1.0
03-082	富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区	コミュニティ	1.4
03-021	和地山公園集会所	生活	1.5
03-074	和合会館	コミュニティ	1.5
03-072	馬生会館	コミュニティ	1.5
03-025	西部協働センター	生活	1.5
14-006	中消防署富塚出張所・浜松第8分団	地域	0.1
07-068	とみつか放課後児童会	生活	0.2
15-107	富塚中学校	生活	0.2
15-025	富塚小学校	生活	0.2
15-026	富塚西小学校	生活	0.6
07-081	こりす・こりす第2放課後児童会	生活	0.6
08-003	権現谷保育園	生活	0.8
22-001	浜松医療センター	広域	1.0



基本情報	リストNo	03-023	施設コード	04492	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課			
	施設名	富塚協働センター			施設	中区・まちづくり推進課				
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	6	再任用(人)	1			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。								
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援。届書の受付や証明書の発行を行う。							
		主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、自治会、地区社会協議会、小学生、中学生、高校生、そのほか地域住民							
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか								
		一定かつ継続的な利用者があり需要は確保されている。								
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズは増すと思われる。							
		特記事項	生涯学習、地域コミュニティの拠点として必要不可欠な施設である。							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		浜松ヒューマンセミナー、地域文化セミナー、アクティブ・シニア講座、子ども講座	2022	394	1,187	868				
			2021	380	973	708				
			2020	341	514	362				
事業②		地域ふれあいフェスタ事業	2022	3,013	—	7,771				
			2021	1,039	—	2,612				
事業③		学習成果活用事業	2022	114	120	86				
			2021	74	52	70				
事業④	中学生ボランティア、コミュニティ・アシスタント(高校生以上のボランティア)の活動状況	2022	—	—	190					
		2021	—	—	111					
		2020	—	—	99					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	・築30年経過の老朽施設のため、各所に不具合が発生している。(電気設備(取替時期を超えている)、建具や備品、器具の故障及び消耗、時代のニーズに合致した備品類の調達)。・実質の利用者数に比べ、駐車可能スペースが確保できない。								
	対応策	緊急性の高い箇所から順次、修繕や交換を行う。駐車場については、転回スペースに縦列駐車するなどに対応。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
代替サービス		—	—	—	—					
統廃合	—	—	—	—						
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	17,758	19,885	18,148	1人当たりのコスト(円)	545	510	769
	施設利用率(%)	41.7	37.8	43.4	1開館日当たりのコスト(円)	108,033	120,972	110,407
	1日当たり利用者(人)	198	237	144	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	7.1	5.3	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	175,826	213,097
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-024	施設コード	04493			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	高台協働センター					
所在(町名・番地)	中区和合町58-30					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕			
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治			
設置根拠(法)	—					
条例	浜松市協働センター条例					
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	8:30 ～ 21:30					
建物情報	総延床面積	1,957.41	土地面積	5,069.82		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	5,069.82	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1988/3/20				
	経過年数(主要建物)	35				
用途地域	第一種中高層住居専用地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	453,716	—	453,716		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	453,716	—	453,716			
特記事項	—					



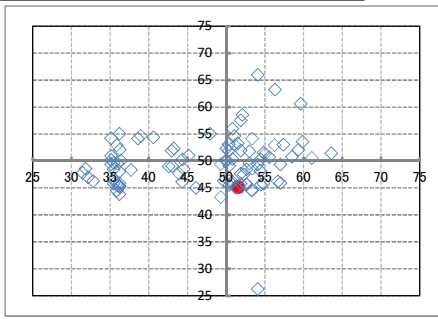
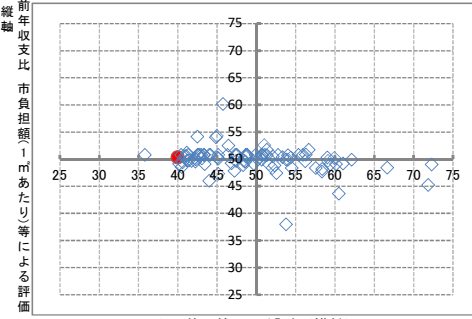
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	3,847	3,335	2,922
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	726	719	670
	収入計(A)	4,573	4,054	3,592
	支出(千円)	人件費	37,200	37,200
	物件費(委託料)	2,899	2,758	2,525
	維持補修費(修繕費)	2,148	5,808	1,727
	物件費(光熱水費)	2,621	2,167	2,094
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	44,868	47,933	43,547
	行政コスト(B-A)	40,295	43,879	39,955
	収支前年比	91.83	109.82	101.49
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	19,135	19,139	19,139
利用状況	利用コマ数/年	12,976	11,682	11,482
	利用可能コマ数/年	38,200	36,491	33,104
	施設利用者数/年	47	66,912	45,388
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	256,851	199,857	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	高台協働センター外壁・屋根改修及び附設体育館取替工事	4,457	2010	体育館天井張替え及び屋根等改修工事	7,998
2018	体育館排煙窓開閉装置改修工事	3,748			
2018	園地補修工事	2,236			
2018	ユニバーサルデザイン化整備工事	49,356			
2017	屋根防水工事	5,577			
2014	空調設備改修工事	28,620			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-072	馬生会館	コミュニティ	0.4
03-021	和地山公園集会所	生活	0.7
03-074	和合会館	コミュニティ	0.8
03-070	幸町会館	コミュニティ	0.9
03-007	男女共同参画・文化芸術活動推進センター	地域	1.0
03-075	和泉会館	コミュニティ	1.0
03-081	文丘集会所	コミュニティ	1.4
03-078	城北会館	コミュニティ	1.5
22-002	浜松市リハビリテーション病院	広域	0.2
15-020	泉小学校	生活	0.4
07-077	たかだい放課後児童会	生活	0.4
14-008	中消防署高台出張所	地域	0.4
13-009	住吉二丁目団地	地域	0.5
06-002	城北図書館	市域	0.6
13-017	和合(馬生)団地	地域	0.7
25-001	住吉庁舎	—	0.8



基本情報	リストNo	03-024	施設コード	04493	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	高台協働センター		施設	中区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	8	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援。届書の受付や証明書の発行を行う。				
		主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定かつ継続的な利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズは増すと思われる。				
	特記事項		生涯学習、地域コミュニティの拠点として必要不可欠な施設である。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		地域ふれあいフェスタ事業	2022	268	—	3,211	
			2021	267	—	620	
			2020	189	—	145	
事業②		子ども講座、子育て教室	2022	81	156	136	
			2021	71	97	86	
			2020	30	63	59	
事業③		アクティブシニア講座、アラカルトレッスン(旧レディースセミナー)	2022	133	320	290	
			2021	129	320	274	
			2020	35	150	74	
事業④	ヒューマンセミナー、地域文化セミナー、学習成果活用事業、地域づくり講座、浜松市と大学との連携事業	2022	143	398	284		
		2021	266	452	559		
		2020	123	348	303		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	施設の老朽化により修繕の必要な箇所が多いが、一度には工事できないため、毎年、少しずつ修繕をおこなっている。また緊急修繕も多く、根本的な修繕に至っていない箇所もあり、数年毎に修繕を繰り返しているケースもある。					
	対応策	利用者に迷惑がかからないよう、効果的で効率的な修繕を検討する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
記入欄	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	20,586	22,417	20,412	1人当たりのコスト(円)	857,340	656	880	
	施設利用率(%)	34.0	32.0	34.7	1開館日当たりのコスト(円)	112,242	122,226	111,295	
	1日当たり利用者(人)	0	186	126	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)							
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	民生導入	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						<p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>	
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。									

施設カルテ 2023

リストNo	03-025	施設コード	04494	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	西部協働センター			
所在(町名・番地)	中区広沢一丁目21-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕	
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市協働センター条例			
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。			
主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:30 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	1,495.29	土地情報	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.15		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1978/3/1		
経過年数(主要建物)	45	代表地目(現況地目)	宅地	
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	182,962	—	182,962
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	182,962	—	182,962	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	2,660	2,437	2,088
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	497	468	446
	収入計(A)	3,157	2,905	2,534
	人件費	25,200	22,400	22,400
支出(千円)	物件費(委託料)	1,750	1,726	2,450
	維持補修費(修繕費)	733	602	877
	物件費(光熱水費)	3,619	2,672	2,426
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	31,302	27,400	28,153
行政コスト(B-A)	28,145	24,495	25,619	
収支前年比	114.90	95.61	101.03	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	7,608	7,608	7,608	
利用状況	利用コマ数/年	13,215	11,466	10,143
	利用可能コマ数/年	41,159	41,994	41,174
	施設利用者数/年	41,876	46,817	40,604
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	184,903	3,459	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	ホール昇降ステージ改修工事	22,000			
2019	浜松市西部協働センターユニバーサルデザイン化整備工事	12,807			
2002	耐震補強・大規模工事	209,895			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-006	勤労会館	地域	0.7
03-078	城北会館	コミュニティ	0.8
03-081	文丘集会所	コミュニティ	0.9
03-008	鴨江アートセンター	地域	1.4
03-023	富塚協働センター	生活	1.5
03-021	和地山公園集会所	生活	1.5
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	1.7
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	1.8
15-146	市立高等学校	市域	0.0
13-006	鹿谷(市立東)団地	地域	0.3
07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	0.3
15-015	広沢小学校	生活	0.3
07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	0.4
04-016	犀ヶ崖資料館	地域	0.5
14-031	浜松第3分団	コミュニティ	0.5
07-073	中部学園放課後児童会	生活	0.6



基本情報	リストNo	03-025	施設コード	04494	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	西部協働センター				施設	中区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	4	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援。				
		主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定かつ継続的な利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズは増すと思われる。				
	特記事項		生涯学習、地域コミュニティの拠点として必要不可欠な施設である。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		地域ふれあい事業	2022	432	—	741	
			2021	432	—	76	
			2020	432	—	74	
事業②		浜松ヒューマンセミナー	2022	70	300	358	
			2021	210	50	50	
			2020	70	92	10	
事業③		子ども講座	2022	95	134	165	
			2021	67	108	106	
			2020	18	32	32	
事業④	地域文化セミナー	2022	130	180	183		
		2021	84	110	79		
		2020	88	171	101		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	部屋数11部屋に対し、駐車場が26台分と、明らかに駐車場が不足している。					
	対応策	1部屋あたりの駐車場利用台数を5台と制限することで、利用者へ協力を呼び掛けている。部屋の予約が6部屋になった段階で、部屋の貸出を制限している。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	18,822	16,381	17,133	1人当たりのコスト(円)	672	523	631
	施設利用率(%)	32.1	27.3	24.6	1開館日当たりのコスト(円)	78,398	68,231	71,362
	1日当たり利用者(人)	117	130	113	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	<p>住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。</p>							



リストNo	03-026	施設コード	04495		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	佐鳴台協働センター				
所在(町名・番地)	中区佐鳴台二丁目24番1号				
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕		
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市協働センター条例				
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。				
主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:30				
建物情報	総延床面積	1,223.85	土地情報		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		土地面積	2,480.11
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積	2,480.11
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—		代表地目(現況地目)	官公庁用地
	建築年月日(主要建物)	1987/3/15			
	経過年数(主要建物)	36			
用途地域	第一種中高層住居専用地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	374,000	—	374,000	
	国・県	国・県	—	—	—
		寄付金	—	—	—
		その他	—	—	—
		市債	—	—	—
		一般財源	374,000	—	374,000
特記事項	—				



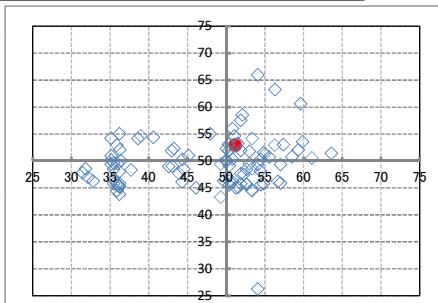
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	3,365	3,495	2,617
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	100	112	131
	収入計(A)	3,465	3,607	2,748
支出(千円)	人件費	33,600	33,600	33,600
	物件費(委託料)	2,742	1,742	2,463
	維持補修費(修繕費)	1,182	690	539
	物件費(光熱水費)	3,561	3,101	2,892
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	41,085	39,133	39,494
行政コスト(B-A)		37,620	35,526	36,746
収支前年比		105.89	96.68	99.55
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		12,013	12,013	12,013
利用状況	利用コマ数/年	13,021	12,256	10,401
	利用可能コマ数/年	33,633	33,483	31,907
	施設利用者数/年	51,896	52,051	33,210
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	270,148	113,577	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	屋根防水工事	14,594			
2018	自動火災報知機更新工事	3,164			
2016	ユニバーサルデザイン化整備工事	33,960			
2013	空調設備更新工事	3,255			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-049	可美協働センター	生活	1.1
03-038	入野協働センター	生活	1.6
同分類			
その他の分類			
15-016	佐鳴台小学校	生活	0.3
07-009	さなる放課後児童会	生活	0.3
08-005	佐鳴台保育園	生活	0.4
15-099	佐鳴台中学校	生活	0.5
26-007	御前谷ポンプ場	—	0.6
15-045	入野小学校	生活	0.9
07-033	めだか放課後児童会	生活	1.0
26-004	西ポンプ場	—	1.1



基本情報	リストNo	03-026	施設コード	04495	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	佐鳴台協働センター			施設	中区・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	7	再任用(人)	1
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援。届書の受付や証明書の発行を行う。				
		主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定かつ継続的な利用者があり需要は確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズは増すと思われる。			
	特記事項			生涯学習、地域コミュニティの拠点として必要不可欠な施設である。			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		子ども講座	2022	189	185	247	
		2021	144	220	270		
		2020	154	134	123		
事業②		地域文化セミナー	2022	31	85	175	
		2021	21	30	21		
事業③		地域ふれあいフェスタ事業	2022	1,153	—	3,524	
		2021	462	—	405		
事業④	アクティブ・シニア講座	2022	66	320	306		
	2021	39	329	264			
2020	28	200	144				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	・築30余年が経過し、施設の老朽化が進み、各所に不具合が発生している。 ・利用可能人数や実際の利用者数に比べ、駐車可能台数の絶対数が少ない。					
	対応策	・施設の修繕については、緊急性の高い箇所から計画的に順次対応している。 ・駐車台数が足りない場合は旧教育センター跡地を利用していたが、令和6年7月から佐鳴台保育園の移転に伴い駐車不可となる。今後、駐車場の確保について検討する必要がある。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	30,739	29,028	30,025	1人当たりのコスト(円)	725	683	1,106
	施設利用率(%)	38.7	36.6	32.6	1開館日当たりのコスト(円)	104,791	98,958	102,357
	1日当たり利用者(人)	145	145	93	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

施設カルテ 2023

リストNo	03-027	施設コード	04496	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	北部協働センター			
所在(町名・番地)	中区葵東一丁目15番1号			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕	
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市協働センター条例			
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。			
主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:30 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	3,176.94	土地情報	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.00		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1974/1/1		
	経過年数(主要建物)	49		
用途地域	工業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	185,200	—	185,200
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	185,200	—	185,200	
特記事項	—			



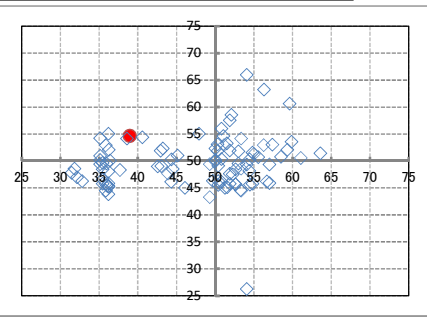
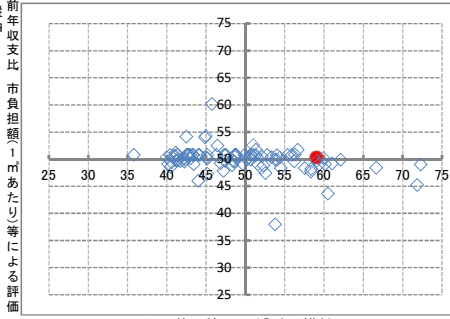
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	5,377	4,872	3,932
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	2,518	949	2,037
	収入計(A)	7,895	5,821	5,969
	人件費	31,200	31,200	28,800
支出(千円)	物件費(委託料)	3,138	2,151	2,850
	維持補修費(修繕費)	1,074	2,159	768
	物件費(光熱水費)	7,433	5,338	4,974
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	42,845	40,848	37,392
行政コスト(B-A)		34,950	35,027	31,423
収支前年比		99.78	111.47	97.21
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	23,717	17,852	17,739
	利用可能コマ数/年	52,338	50,506	48,817
	施設利用者数/年	113,806	65,415	61,705
	開館日数/年	359	357	357
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	183,930	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	空調設備更新工事	7,224	2014	非常用発電機取替工事	6,480
2019	浜松市北部協働センター受変電設備改修工事	31,231	2014	体育館給水管改修工事	2,743	
2018	ユニバーサルデザイン化整備工事	27,756	2013	ユニバーサルデザイン化整備工事	6,816	
2018	吊り天井落下防止対策工事	32,562	2013	埋設水道管改修工事	2,820	
2015	附設体育館他1件吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	32,364	2010	ユニバーサルデザイン化整備工事	21,029	
2015	附設体育館他1件吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	13,109				

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-067	葵が丘会館	コミュニティ	0.8
03-075	和泉会館	コミュニティ	1.5
03-076	高丘北会館	コミュニティ	1.6
03-068	葵西会館	コミュニティ	1.7
03-071	瑞穂会館	コミュニティ	1.8
03-007	男女共同参画・文化芸術活動推進センター	地域	1.8
03-070	幸町会館	コミュニティ	1.8
06-005	北図書館	地域	0.0
01-030	北部市民サービスセンター	生活	0.1
13-054	初生団地	地域	0.6
07-079	あおぞら放課後児童会	生活	0.7
15-011	葵が丘小学校	生活	0.7
14-036	浜松第10分団	コミュニティ	1.2
15-102	開成中学校	生活	1.2
10-013	ふれあい交流センター萩原	地域	1.2



基本情報	リストNo	03-027	施設コード	04496	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	北部協働センター		施設	中区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	4	再任用(人)	1
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援。				
		主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定かつ継続的な利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズは増すと思われる。				
	特記事項		生涯学習、地域コミュニティの拠点として必要不可欠な施設である。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		地域文化セミナー	2022	280	500	463	
			2021	238	219	256	
			2020	109	128	87	
事業②		地域ふれあい事業(協働センターまつり等)	2022	282	—	1,000	
			2021	279	—	1,000	
			2020	—	—	—	
事業③		青少年健全育成事業(北部ジュニア公民館)	2022	53	—	200	
			2021	135	—	200	
			2020	—	—	—	
事業④	子ども講座	2022	110	410	355		
		2021	92	177	181		
		2020	91	252	234		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	・竣工から40年以上が経過し、付帯設備の故障や経年劣化による不具合などが発生している。・交通アクセス等、利便性が良く利用者数が多いが、敷地内に併設している図書館や市民サービスセンターの利用者も多く、行きたい施設に迷う場合が多々見られる。また、慢性的な駐車場不足により、施設の貸出制限を設けざるを得ない。					
	対応策	・駐車スペースの拡充。 ・施設の長寿命課推進による修繕及び付帯設備の更新。 ・市民サービスセンターのPR促進					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	11,001	11,025	9,891	1人当たりのコスト(円)	307	535	509
	施設利用率(%)	45.3	35.3	36.3	1開館日当たりのコスト(円)	97,354	98,115	88,020
	1日当たり利用者(人)	317	183	173	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>		 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。		
		<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>利用用途別分類毎の方向性</p>		<p>参考</p> <p>公共施設等総合管理計画より抜粋</p> <p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>地域や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p> <p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>				
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-028	施設コード	04497	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	県居協働センター			
所在(町名・番地)	中区東伊場二丁目7-2			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕	
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市協働センター条例			
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。			
主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:30 ～ 17:15			
建物情報	総延床面積	2,061.40	土地面積 5,505.36	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1990/3/1		
	経過年数(主要建物)	33		
用途地域	第二種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	329,168	—	329,168
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	329,168	—	329,168
特記事項	前回調査では届書の受付や証明発行業務に携わっている人員について計上してありませんでしたが、回答表2について業務内容に届書の受付および証明発行について記載ある事から今回は当該業務に携わる人員4人を加えて計上しております。			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	3,800	3,559	3,047
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	701	530	684
	収入計(A)	4,501	4,089	3,731
	支出(千円)	人件費	34,400	23,200
	物件費(委託料)	2,640	1,944	2,542
	維持補修費(修繕費)	1,643	1,285	1,433
	物件費(光熱水費)	2,308	1,980	1,768
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	40,991	28,409	25,343
	行政コスト(B-A)	36,490	24,320	21,612
	収支前年比	150.04	112.53	107.02
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	15,160	15,160	15,171
利用状況	利用コマ数/年	15,175	11,416	11,549
	利用可能コマ数/年	38,109	40,736	34,033
	施設利用者数/年	141,119	48,782	43,274
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	512	—
	図書貸出冊数/年	—	122	—
	蔵書数	—	3,047	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	420,759	178,740	—	

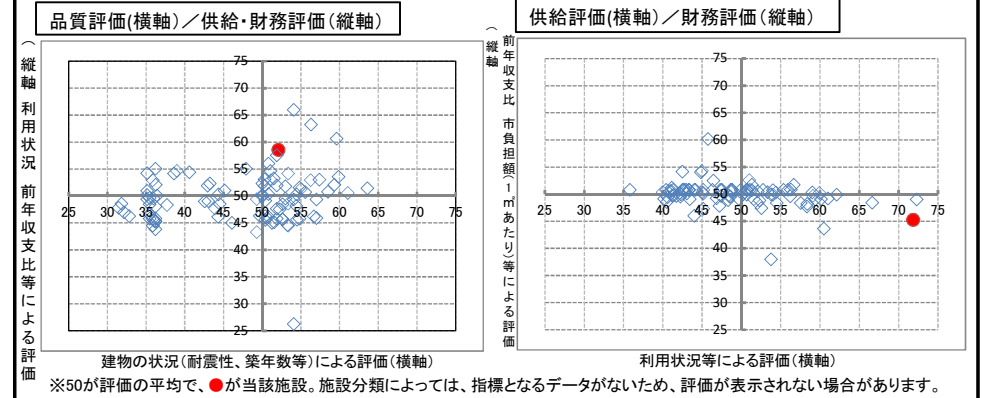
年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2017	外壁改修工事	6,614	2014	空調設備改修工事(電気設備工事)	6,533
2017	屋根防水工事	8,558			
2016	ユニバーサルデザイン化工事	42,563			
2015	体育館照明取替え工事	6,702			
2015	体育館吊り天井落下防止対策工事	16,001			
2014	空調設備改修工事(機械設備工事)	25,097			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-008	鴨江アートセンター	地域	0.9
03-004	福祉交流センター	市域	1.0
03-080	江西会館	コミュニティ	1.2
03-029	南部協働センター	生活	1.5
03-001	アクトシティ浜松Aゾーン	広域	1.8
03-025	西部協働センター	生活	1.9
04-013	賀茂真淵記念館	地域	0.3
07-070	あがたい放課後児童会	生活	0.4
15-002	県居小学校	生活	0.4
13-011	東伊場団地	地域	0.4
14-032	浜松第4分団	コミュニティ	0.5
15-104	西部中学校	生活	0.5
14-004	消防車両整備工場	地域	0.6
14-003	南消防署	地域	0.6



基本情報	リストNo	03-028	施設コード	04497	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課			
	施設名	県居協働センター			施設	中区・まちづくり推進課				
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	6	再任用(人)	1			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。								
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援。届書の受付や証明書の発行を行う。							
		主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など							
	設置目的の継続性・妥当性									
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定かつ継続的な利用者があり需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズは増すと思われる。						
	特記事項			生涯学習、地域コミュニティの拠点として必要不可欠な施設である。						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		県居協働センター地域ふれあいフェスタ事業	2022	434	—	869				
			2021	262	—	643				
			2020	15	—	—				
事業②		地域文化セミナー	2022	170	324	256				
			2021	199	157	149				
			2020	239	160	149				
事業③		子ども講座	2022	66	131	119				
			2021	52	110	120				
			2020	10	24	22				
事業④	アクティブシニア講座	2022	35	176	104					
		2021	35	140	122					
		2020	38	200	115					
施設に関する課題等(ハード面から)										
課題	①当協働センターは、地域の南端に位置しているため、他地域からの利用者や、地域内であっても車での来館者が多い。また利用者の高齢化により、自転車・徒歩から車の利用に移行しているため、駐車スペースが慢性的に不足している。									
	②建築から30年以上経過し、建物や施設の老朽化による不具合が多くなっている。									
対応策	①利用団体ごとに駐車台数の制限や、公共交通機関の利用を促している。									
	②緊急度の高い箇所から計画的に修繕する。									
資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄					
	廃止	—	—	—	—					
	民間移管	—	—	—	—					
	管理主体変更	—	—	—	—					
	代替サービス	—	—	—	—					
	統廃合	—	—	—	—					
記入欄	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
	民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	17,702	11,798	10,484	1人当たりのコスト(円)	259	499	499
	施設利用率(%)	39.8	28.0	33.9	1開館日当たりのコスト(円)	101,643	67,744	60,201
	1日当たり利用者(人)	393	136	121	1定員当たりのコスト(円)	—	47,500	—
	図書貸出率(%)	—	4.0	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	199,344	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。							

施設カルテ 2023

リストNo	03-029	施設コード	04498
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	南部協働センター		
所在(町名・番地)	中区海老塚二丁目25番17号		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市協働センター条例		
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。		
主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	8:30 ～ 21:30		
建物情報	総延床面積	2,987.50	土地面積 7,867.41
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	3	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1989/3/10	
	経過年数(主要建物)	34	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	584,973	—	584,973
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	584,973	—
特記事項	—		



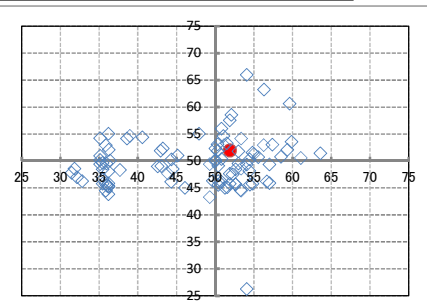
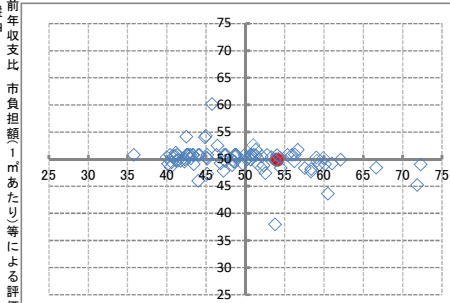
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	5,070	5,412	4,570
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3,523	3,022	2,735
	収入計(A)	8,593	8,434	7,305
	人件費	26,000	26,000	22,400
支出(千円)	物件費(委託料)	2,936	2,804	2,695
	維持補修費(修繕費)	700	710	1,767
	物件費(光熱水費)	7,340	5,952	5,243
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	36,976	35,466	32,105
行政コスト(B-A)	28,383	27,032	24,800	
収支前年比	105.00	109.00	100.65	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	21,969	21,969	21,969	
利用状況	利用コマ数/年	22,911	21,455	18,788
	利用可能コマ数/年	53,410	55,575	48,217
	施設利用者数/年	80,750	79,028	64,490
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	635,504	248,317	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	屋根防水工事	24,239	2010	空調設備更新工事	42,945
2022	附設体育館床改修工事	5,766	2010	ユニバーサルデザイン化整備工事	9,608
2016	体育館LED照明導入工事	5,346	2010	附設体育館天井改修工事	4,830
2015	南図書館LED照明導入工事	6,475	2009	中庭改修工事	2,518
2015	受変電設備改修工事	4,039			
2011	エレベーター設置工事	22,868			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-004	福祉交流センター	市域	0.6
03-001	アクトシティ浜松Aゾーン	広域	1.0
03-080	江西会館	コミュニティ	1.1
03-008	鴨江アートセンター	地域	1.3
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	1.4
03-028	県居協働センター	生活	1.5
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	1.5
03-022	東部協働センター	生活	1.8
06-004	南図書館	地域	0.0
08-008	南保育園	生活	0.2
26-005	南ポンプ場	—	0.3
07-013	こだま放課後児童会	生活	0.4
15-007	双葉小学校	生活	0.4
15-105	南部中学校	生活	0.5
01-010	海老塚事務所	地域	0.6
14-038	浜松第12分団	コミュニティ	0.7



基本情報	リストNo	03-029	施設コード	04498	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	南部協働センター		施設	中区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	1
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援。				
		主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定かつ継続的な利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズは増すとされる。				
	特記事項		生涯学習、地域コミュニティの拠点として必要不可欠な施設である。				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	地域ふれあいフェスタ事業(協働センターまつり)	2022	400	—	390	
			2021	62	—	210	
			2020	51	—	175	
	事業②	地域文化セミナー	2022	100	113	174	
			2021	147	113	208	
			2020	189	107	133	
	事業③	こども講座	2022	70	166	176	
			2021	66	234	207	
			2020	17	80	77	
事業④	生きがい作り教室	2022	46	24	167		
		2021	49	24	153		
		2020	47	45	182		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	・イベント開催時やホール・体育館利用時、併設している図書館の利用者が多い場合などに駐車場が不足し、一般利用者の駐車に支障をきたしている。 ・築30年が経過し、施設の老朽化が進行している。					
	対応策	・公共交通機関の利用案内、臨時駐車場への誘導。・将来に向けて持続可能な施設とするため、施設の長寿命化対策を計画的に実施する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
記入欄	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	9,501	9,048	8,301	1人当たりのコスト(円)	351	342	385
	施設利用率(%)	42.9	38.6	39.0	1開館日当たりのコスト(円)	79,061	75,298	69,081
	1日当たり利用者(人)	225	220	180	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								



施設カルテ 2023

リストNo	03-030	施設コード	04499	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	曳馬協働センター			
所在(町名・番地)	中区曳馬三丁目13番10号			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕	
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市協働センター条例			
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。			
主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:30 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	2,517.73	土地情報	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.71		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1979/4/1		
	経過年数(主要建物)	44		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	212,954	—	212,954
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	212,954	—	212,954
特記事項	—			



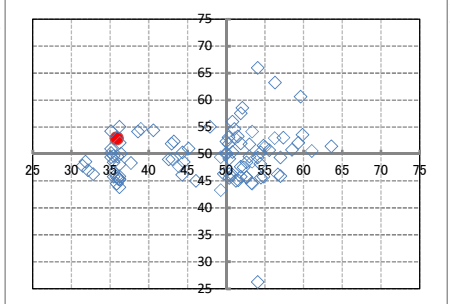
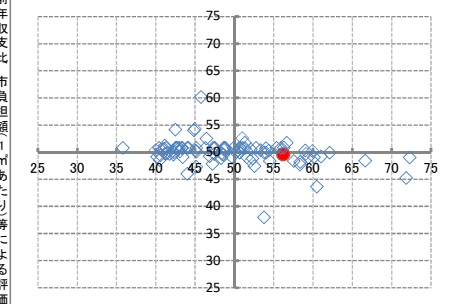
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	4,781	4,440	3,983
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	982	896	944
	収入計(A)	5,763	5,336	4,927
支出(千円)	人件費	44,800	44,800	45,600
	物件費(委託料)	2,824	2,780	2,605
	維持補修費(修繕費)	1,544	1,900	849
	物件費(光熱水費)	4,873	4,154	3,855
	物件費(借地料)	2,848	2,848	2,848
支出計(B)	56,889	56,482	55,757	
行政コスト(B-A)		51,126	51,146	50,830
収支前年比		99.96	100.62	101.91
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		7,590	7,590	7,590
利用状況	利用コマ数/年	17,876	17,471	16,572
	利用可能コマ数/年	36,354	37,412	35,507
	施設利用者数/年	82,937	75,555	69,784
	開館日数/年	359	360	360
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	362,806	18,630	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	浜松市曳馬協働センター附設体育館他1件外壁及び屋根改修工事	20,979			
2016	外壁改修工事	13,159			
2015	附設体育館他1件吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	33,993			
2015	附設体育館他1件吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	14,637			
2013	ユニバーサルデザイン化整備工事	7,235			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-069	金屋会館	コミュニティ	0.7
03-003	勤労青少年ホーム	市域	1.3
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	2.0
15-101	曳馬中学校	生活	0.4
14-037	浜松第11分団	コミュニティ	0.4
15-013	曳馬小学校	生活	0.5
07-014	こうま放課後児童会	生活	0.5
24-002	茄子揚水機場	—	0.7
07-016	ふなこし放課後児童会	生活	0.8
15-106	八幡中学校	生活	0.9
15-005	船越小学校	生活	0.9



基本情報	リストNo	03-030	施設コード	04499	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	曳馬協働センター				施設	中区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	11	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援。届書の受付や証明書の発行を行う。				
		主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定かつ継続的な利用者があり需要は確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズは増すと思われる。			
	特記事項			生涯学習、地域コミュニティの拠点として必要不可欠な施設である。			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		地域ふれあい事業	2022	391	1,500	1,827	
			2021	139	52	153	
			2020	—	—	—	
事業②		地域文化セミナー(地域づくり講座等を含む)	2022	290	279	505	
			2021	188	158	243	
			2020	192	173	277	
事業③		生きがいづくり教室	2022	35	25	139	
			2021	25	30	96	
			2020	7	30	60	
事業④	子ども講座	2022	63	126	145		
		2021	49	86	86		
2020	104	131	347				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	・利用人数に比べ、駐車場の駐車可能台数が少ない。					
	対応策	・指定された駐車スペース以外への駐車に対応している。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	20,306	20,314	20,189	1人当たりのコスト(円)	616	677	728
	施設利用率(%)	49.2	46.7	46.7	1開館日当たりのコスト(円)	142,412	142,072	141,194
	1日当たり利用者(人)	231	210	194	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。</p>								

施設カルテ 2023

リストNo	03-031	施設コード	04500				
利用用途別分類(施設分類)	集会施設						
施設名	蒲協働センター						
所在(町名・番地)	東区子安町309-1						
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域					
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設				
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕				
	施設	東区・区民生活課	課長名 笹川 秀幸				
設置根拠(法)	—						
条例	浜松市協働センター条例						
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。						
主な利用者	市民、文化・体育活動団体、地域・学校等団体						
運営形態	直営						
指定管理または包括管理委託等の期間	～						
管理者名	—						
開館時間	8:30 ～ 21:30						
建物情報	総延床面積	2,465.80	土地面積	5,804.68			
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		土地情報	5,804.68		
	地上階数(主要建物)	3				うち所有面積	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.56				うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—				代表地目(現況地目)	官公庁用地
	建築年月日(主要建物)	1981/3/20					
	経過年数(主要建物)	42					
用途地域	第一種住居地域						
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計				
財源	設置事業費	494,075	278,882	772,957			
	国・県	77,100	—	77,100			
	寄付金	—	—	—			
	その他	—	—	—			
	市債	102,500	—	102,500			
一般財源	314,475	278,882	593,357				
特記事項	—						



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	3,284	3,300	2,872
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	780	722	726
	収入計(A)	4,064	4,022	3,598
支出(千円)	人件費	20,400	20,400	20,400
	物件費(委託料)	2,686	2,694	2,516
	維持補修費(修繕費)	1,314	991	1,434
	物件費(光熱水費)	4,454	2,775	3,527
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	28,854	26,860	27,877	
行政コスト(B-A)	24,790	22,838	24,279	
収支前年比	108.55	94.06	101.16	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	9,379	9,379	9,379	
利用状況	利用コマ数/年	9,542	8,112	9,446
	利用可能コマ数/年	30,319	26,618	25,393
	施設利用者数/年	43,391	44,885	36,887
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	411,071	32,402	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	建具改修工事	5,940	2015	体育館吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	7,535
2020	給水設備改修工事	18,894	2015	体育館吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	19,317
2018	附設体育館外壁改修工事	13,580	2015	LED照明導入工事	4,582
2018	ユニバーサルデザイン化工事	13,027	2012	空調設備改修工事(機械設備工事)	51,520
2018	自家発電更新工事	12,636	2012	空調設備改修工事(電気設備工事)	19,341
2017	附設体育館屋根防水工事	9,663	2011	エレベーター設置工事	34,115

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-077	江東会館	コミュニティ	0.8
03-022	東部協働センター	生活	1.3
03-044	東部協働センター体育館	生活	1.6
03-003	勤労青少年ホーム	市域	1.7
06-007	東図書館	地域	0.0
15-028	蒲小学校	生活	0.6
07-027	ポプラの子放課後児童会	生活	0.6
05-003	浜松アリーナ	広域	0.8
13-022	富吉団地改良住宅	地域	0.8
14-041	浜松第14分団	コミュニティ	0.9
13-047	飯田団地	地域	1.1
07-075	さとう第2放課後児童会	生活	1.2



基本情報	リストNo	03-031	施設コード	04500	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	蒲協働センター		施設	東区・区民生活課		
複合施設	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	1
	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
設置の妥当性	設置目的(再掲)						
	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。						
設置の妥当性	主な業務内容	貸し館業務、自主事業(講座等の企画・開催)、地域づくり活動の支援、各種届出受付と各種証明書発行窓口業務					
	主な利用者	市民、文化・体育活動団体、地域・学校等団体					
設置の妥当性	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり需要は確保されている。					
設置の妥当性	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	少子高齢化の進展により、身近にある施設として更に存続ニーズが増す。					
	特記事項	生涯学習・地域づくりの拠点として必要不可欠な施設である。					
施設運営分析	事業名・開催回数(2022)						
	事業①	地域ふれあいフェスタ事業・開催回数:6回(2022)※事業費及び実施状況欄は、美化活動2回、出張子ども食堂講座1回、劇団たんぼぼ公演1回、ミニ四駆作成講座1回、センターまつりの合計	年度	事業費(千円)	実施状況のべ募集人員	参加者数	
施設運営分析	事業②	はたちの集い開催事業・開催日数:1日(2022)	2022	408	1,259	1,249	
		※のべ募集人数の欄は地区の対象新成人数	2021	200	234	234	
施設運営分析	事業③	各種講座等の開催事業・開催数:18講座及び48回(2022)	2020	438	1,200	1,149	
		※事業費及び実施状況欄は、地域文化セミナー4講座、子ども講座13講座、大学連携事業1講座、学習成果活用事業3講座、アクティブシニア講座1講座、中学生リーダーカレッジ1講座の合計。	2021	325	385	457	
施設運営分析	事業④	地域課題解決事業:防災講座1回	2020	260	366	467	
			2022	100	60	56	
施設運営分析	事業④		2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)	施設に関する課題等(ハード面から)						
	課題	建築から40年以上が経過し、老朽化により今後の改修等に掛かるコストの増大が見込まれる。施設利用者の駐車場について、施設規模に対して台数が不足していることに加え、図書館が併設していることから満車状態になることも少なくない。					
施設所管課・本庁所管課	対応策	随時、施設の点検を行い、不具合等が小さいうちの早期発見・早期修繕に努める。駐車場については、利用者に対して乗り合わせをお願いするなどの呼びかけを行う。なお、令和5年度に駐車場整備工事を実施し、駐車場の拡充を図る予定である。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
記入欄	民生導入	廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
記入欄	民生導入	管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
記入欄	民生導入	統廃合	—	—	—	—	
		複合化	—	—	—	—	
記入欄	民生導入	広域化	—	—	—	—	
		民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。				

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	10,054	9,262	9,846	1人当たりのコスト(円)	571	509	658
参考指標	施設利用率(%)	31.5	30.5	37.2	1開館日当たりのコスト(円)	69,053	63,616	67,630
	1日当たり利用者(人)	121	125	103	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
参考指標	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
個別方針	住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。							

施設カルテ 2023

リストNo	03-032	施設コード	04501	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	天竜協働センター			
所在(町名・番地)	東区薬新町99			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕	
	施設	東区・区民生活課	課長名 笹川 秀幸	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市協働センター条例			
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。			
主な利用者	市民、生涯学習団体、地域団体、地域小中学校児童等			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:30 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	2,103.09	土地情報	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	0.70		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1981/3/15		
経過年数(主要建物)	42	代表地目(現況地目)	官公庁用地	
用途地域	準工業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	376,818	171,805	548,623	
財源	国・県	72,393	—	72,393
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	86,800	—	86,800
	一般財源	217,625	171,805	389,430
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	2,979	2,985	2,654
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	420	388	380
	収入計(A)	3,399	3,373	3,034
支出(千円)	人件費	19,600	16,800	20,400
	物件費(委託料)	2,352	2,302	2,325
	維持補修費(修繕費)	445	1,878	1,499
	物件費(光熱水費)	2,326	2,051	2,077
	物件費(借地料)	756	756	756
支出計(B)	25,479	23,787	27,057	
行政コスト(B-A)	22,080	20,414	24,023	
収支前年比	108.16	84.98	110.14	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	7,113	7,113	7,113	
利用状況	利用コマ数/年	8,964	7,221	8,950
	利用可能コマ数/年	33,295	28,540	27,229
	施設利用者数/年	38,210	41,169	34,296
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	234,613	24,488	—	

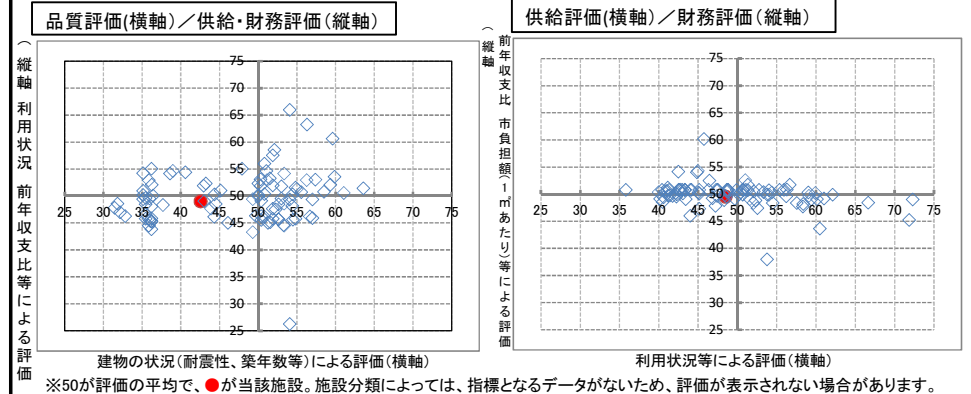
年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	外周フェンス改修工事	4,103	2013	空調設備改修工事	28,739
2021	駐車場整備工事	9,954	2009	空調設備冷温水配管改修工事	5,237
2017	ユニバーサルデザイン化整備工事	40,840			
2015	体育館吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	6,102			
2015	体育館吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	16,546			
2014	LED照明一括導入工事	2,579			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-083	安新会館	コミュニティ	0.5
03-086	北島会館	コミュニティ	0.7
同分類			
その他の分類			
08-031	和田幼稚園	生活	0.4
15-037	和田小学校	生活	0.5
07-026	和田っ子放課後児童会	生活	0.5
15-114	天竜中学校	生活	0.6
07-020	すぎの子第2放課後児童会	生活	0.7
15-031	中ノ町小学校	生活	0.7
08-026	中ノ町幼稚園	生活	0.7
15-038	和田東小学校	生活	0.7



基本情報	リストNo	03-032	施設コード	04501	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	天竜協働センター				施設	東区・区民生活課
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務、自主事業(講座等の企画・開催)、地域づくり活動の支援、各種届出受付と各種証明書発行窓口業務				
		主な利用者	市民、生涯学習団体、地域団体、地域小中学校児童等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進展により、身近にある施設として更に存続ニーズが増す。				
	特記事項		生涯学習・地域づくりの拠点として必要不可欠な施設である。				
	主要事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		地域ふれあいフェスタ事業・開催日数:1日(2022)※事業費及び実施状況欄は、協働センター美化活動1日間(活動団体年1回)の合計。協働センターまつりはコロナ感染対策を徹底したうえで実施。※のべ募集人員は上記事業の想定参加者数	2022	240	1,371	996	
			2021	—	92	186	
			2020	—	112	221	
			2022	681	226	173	
事業②		はたちの集い開催事業・開催日数 1日(2023年1月) ※のべ募集人員の欄は地区対象の新20歳人数	2021	419	231	161	
			2020	409	258	182	
			2022	389	722	609	
事業③	各種講座等の開催講座数:12講座(2022)※事業費及び実施状況欄は、ヒューマンセミナー1講座、子ども講座3講座、アクティブ・シニア講座1講座、レディースセミナー2講座、地域文化セミナー2講座、学習成果2講座、大学連携1講座の合計。	2021	337	585	484		
		2020	115	194	138		
		2022	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	建築から40年以上が経過し、老朽化により今後の改修等に掛かるコストの増大が見込まれる。また、利用者の少子高齢化の進行に伴い、設備のUI化等の必要性が高まることが予想される。施設利用者の駐車場について、施設付近に民間の駐車場が少ないこともあり、満車状態になることも少なくない。					
	対応策	施設の点検頻度を高め、利用者からの声の共有を図るなかで、施設の不具合の早期発見に努める。併せて早期修繕を実施し、施設の予防保全にも努める。駐車場については、利用者に対して乗り合わせをお願いする等などの呼びかけを行う。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	10,499	9,707	11,423	1人当たりのコスト(円)	578	496	700
	施設利用率(%)	26.9	25.3	32.9	1開館日当たりのコスト(円)	61,504	56,864	66,916
	1日当たり利用者(人)	106	115	96	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>					
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>					
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	
<p>住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。</p>							

リストNo	03-033	施設コード	04502	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	長上協働センター			
所在(町名・番地)	東区市野町2620-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕	
	施設	東区・区民生活課	課長名 笹川 秀幸	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市協働センター条例			
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。			
主な利用者	市民、地域活動団体、自治会関係者、地域福祉向上団体関係者			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:30 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	1,892.41	土地面積 5,636.43	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.35		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1981/2/28		
	経過年数(主要建物)	42		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	342,664	111,052	453,716
財源	国・県	81,100	—	81,100
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	74,500	—	74,500
	一般財源	187,064	111,052	298,116
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	3,774	3,621	3,030
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	855	766	734
	収入計(A)	4,629	4,387	3,764
支出(千円)	人件費	20,400	20,400	20,400
	物件費(委託料)	2,482	2,328	2,498
	維持補修費(修繕費)	563	1,966	1,382
	物件費(光熱水費)	2,691	2,347	2,199
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	26,136	27,041	26,479
行政コスト(B-A)		21,507	22,654	22,715
収支前年比		94.94	99.73	111.02
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		5,910	5,910	5,910
利用状況	利用コマ数/年	12,927	10,958	11,067
	利用可能コマ数/年	38,505	34,159	32,133
	施設利用者数/年	58,209	67,655	45,881
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	256,376	20,417	—	

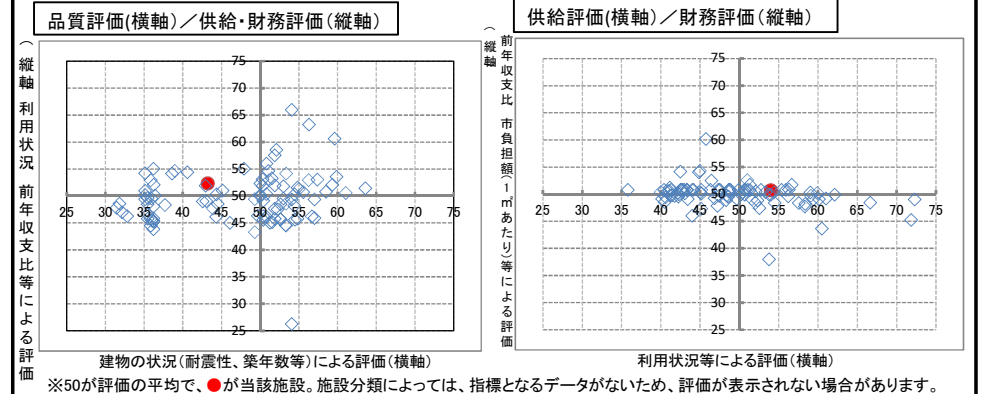
主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2019	ユニバーサルデザイン化整備工事	54,946	2014	ユニバーサルデザイン化整備工事	10,352
2019	附設体育館外壁改修工事	10,810	2011	空調設備改修工事(機械設備工事)	29,107	
2017	附設体育館屋根防水工事	5,876	2011	空調設備改修工事(電気設備工事)	9,669	
2015	体育館吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	18,262	2008	駐車場整備工事	14,364	
2015	体育館吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	5,480	2008	空調設備配管改修工事	2,877	
2015	LED照明導入工事	3,116				

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-085	小池会館	コミュニティ	0.9
15-036	与進北小学校	生活	0.2
07-024	与進北放課後児童会	生活	0.2
08-030	与進幼稚園	生活	0.6
14-043	浜松第21分団	コミュニティ	0.6
07-028	よしん第1・第2放課後児童会	生活	0.6
15-035	与進小学校	生活	0.6
07-023	よしん第3放課後児童会	生活	0.6
07-078	よしん第4・第5放課後児童会	生活	0.7



基本情報	リストNo	03-033	施設コード	04502	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	長上協働センター				施設	東区・区民生活課
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	1
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務、自主事業(講座等の企画・開催)、地域づくり活動の支援、各種届出受付と各種証明書発行窓口業務				
		主な利用者	市民、地域活動団体、自治会関係者、地域福祉向上団体関係者				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進展により、身近にある施設として更に存続ニーズが増す。				
	特記事項		生涯学習・地域づくりの拠点として必要不可欠な施設である。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		地域ふれあいフェスタ事業・開催日数:5日(2022)事業費及び実施状況欄は、協働センターまつり2日間、地域ふれあい清掃事業1日、地域ふれあい卓球大会1日、地域ふれあいバドミントン大会1日 ※延べ募集人数欄は上記事業の想定参加者数	2022	400	922	792	
			2021	344	150	131	
			2020	182	110	104	
			2022	438	223	177	
事業②	はたちの集い開催事業・開催日数:1日(2022) ※延べ募集人数の欄は長上地区の対象新成人数	2021	422	251	199		
		2020	346	238	153		
事業③	各種講座等の開催事業・開催数:19講座及び49回(2022)*事業費及び実施状況欄は、ヒューマンセミナー1講座、アクティブシニア講座1講座、レディースセミナー1講座、地域文化セミナー8講座、大学連携事業1講座、学習成果活用事業1講座、子ども講座6講座の合計	2022	480	684	425		
		2021	287	407	334		
事業④	—	2020	298	250	207		
		2022	—	—	—		
2021	—	—	—				
2020	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から40年以上が経過し老朽化が見受けられるが、令和5年度より大規模改修工事を実施する予定であり改善が見込まれる。施設利用者の駐車場について、施設付近に民間の駐車場が少ないこともあり、満車状態になることも少なくない。					
	対応策	随時、施設の点検を行い、不具合等が小さいうちの早期発見・早期修繕に努める。不具合等の修繕の際には、併せてUDに対応した形に設備を改良できないか検討する。駐車場については、第2駐車場も設置したが、利用者に対して乗り合わせをお願いするなどの呼びかけを行う。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活用の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	11,365	11,971	12,003	1人当たりのコスト(円)	369	335	495
	施設利用率(%)	33.6	32.1	34.4	1開館日当たりのコスト(円)	59,908	63,103	63,273
	1日当たり利用者(人)	162	188	128	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



**参考**

利用者の圏域毎の方向性

公共施設等総合管理計画より抜粋

利用用途別分類毎の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。						



施設カルテ 2023

リストNo	03-034	施設コード	04503				
利用用途別分類(施設分類)	集会施設						
施設名	笠井協働センター						
所在(町名・番地)	東区笠井町861						
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域					
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設				
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕				
	施設	東区・区民生活課	課長名 笠川 秀幸				
設置根拠(法)	—						
条例	浜松市協働センター条例						
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。						
主な利用者	市民、社会教育関係団体、地域団体、地域の学校等						
運営形態	直営						
指定管理または包括管理委託等の期間	～						
管理者名	—						
開館時間	8:30 ～ 9:30						
建物情報	総延床面積	2,046.58	土地面積	4,346.42			
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			土地情報	4,346.42	
	地上階数(主要建物)	2					うち所有面積
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.43					うち借地面積
	耐震工事(主要建物)	—			代表地目(現況地目)	官公庁用地	
	建築年月日(主要建物)	1977/3/25					
	経過年数(主要建物)	46					
用途地域	第一種住居地域						
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計				
設置事業費	252,510	48,699	301,209				
財源	国・県	68,016	—	68,016			
	寄付金	—	—	—			
	その他	—	—	—			
	市債	37,200	—	37,200			
	一般財源	147,294	48,699	195,993			
特記事項	—						



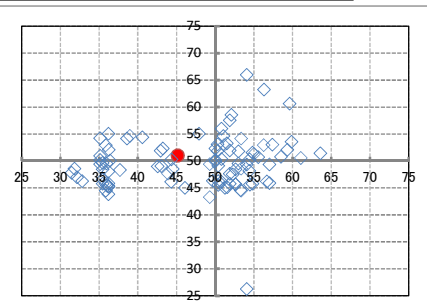
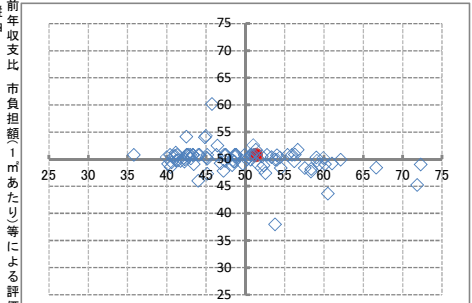
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	3,011	3,042	2,731
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	553	503	470
	収入計(A)	3,564	3,545	3,201
支出(千円)	人件費	20,400	20,400	20,400
	物件費(委託料)	2,517	2,476	2,811
	維持補修費(修繕費)	1,027	2,497	977
	物件費(光熱水費)	2,411	2,186	2,167
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	26,355	27,559	26,355	
行政コスト(B-A)	22,791	24,014	23,154	
収支前年比	94.91	103.71	107.10	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	3,242	5,482	5,482	
利用状況	利用コマ数/年	9,791	7,090	10,632
	利用可能コマ数/年	47,979	40,154	39,116
	施設利用者数/年	50,261	46,830	44,009
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	216,614	33,623	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	附設体育館ユニバーサルデザイン化工事	50,663			
2019	外壁・種改修工事	19,329			
2017	附設体育館建具改修工事代金	8,764			
2017	附設体育館建具改修工事 前金払	5,900			
2015	体育館吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	16,453			
2015	体育館吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	6,309			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-084	恒武会館	コミュニティ	0.7
03-036	ゆたか緑地集会所	生活	1.8
03-053	北浜南部協働センター	生活	1.8
14-044	浜松第22分団	コミュニティ	0.2
08-025	笠井幼稚園	生活	0.2
07-019	かさいっこ第2放課後児童会	生活	0.3
07-018	かさいっこ放課後児童会	生活	0.3
15-027	笠井小学校	生活	0.3
15-110	笠井中学校	生活	0.4
08-010	笠井保育園	生活	0.4
15-033	豊西小学校	生活	0.8



基本情報	リストNo	03-034	施設コード	04503	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	笠井協働センター		施設	東区・区民生活課		
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	1
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務、自主事業(講座等の企画・開催)、地域づくり活動の支援、各種届出受付と各種証明書発行窓口業務				
		主な利用者	市民、社会教育関係団体、地域団体、地域の学校等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進展により、身近にある施設として更に存続ニーズが増す。				
	特記事項		生涯学習・地域づくりの拠点として必要不可欠な施設である。				
	主要事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		地域ふれあいフェスタ事業・開催日数:4日(2022)※事業費及び実施状況欄は、協働センターまつり2日、協働センター美化活動2日、グラウンドゴルフ大会1日※のべ募集人員は定員等を定めていないため想定参加者数。	2022	361	936	1,182	
			2021	287	120	108	
			2020	376	162	155	
			2022	268	137	185	
事業②		はたちの集い開催事業・開催日数1日(2022)※のべ募集人員の欄は地区の対象新成人数	2021	286	154	189	
			2020	210	132	94	
			2022	259	240	318	
事業③		各種講座等の開催事業:18講座(2022)※事業費及び実施状況欄はヒューマンセミナー1講座、子ども講座5講座、地域文化セミナー3講座、地域づくり講座1講座、大学連携講座1講座、学習成果活用事業1講座、アクティブシニア講座6講座の合計	2021	172	252	225	
			2020	312	803	528	
	2022		—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から40年以上が経過し、老朽化により今後の改修等に掛かるコストの増大が見込まれる。施設利用者の駐車場について、施設付近に民間の駐車場が少ないこともあり、満車状態になることも少なくない。					
	対応策	随時、施設の点検を行い、不具合等が小さいうちの早期発見・早期修繕に努める。不具合等の修繕の際には、併せてUDに対応した形に設備を改良できないか検討する。駐車場については、利用者に対して乗り合わせをお願いするなどの呼びかけを行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
民生導入	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	11,136	11,734	11,314	1人当たりのコスト(円)	453	513	526	
	施設利用率(%)	20.4	17.7	27.2	1開館日当たりのコスト(円)	63,485	66,891	64,496	
	1日当たり利用者(人)	140	130	123	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋	 <p>品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)</p>		 <p>供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)</p>		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>			
		利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>								
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。									

リストNo	03-035	施設コード	04504				
利用用途別分類(施設分類)	集会施設						
施設名	積志協働センター						
所在(町名・番地)	東区積志町1816-2						
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域					
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設				
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕				
	施設	東区・区民生活課	課長名 笹川 秀幸				
設置根拠(法)	—						
条例	浜松市協働センター条例						
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。						
主な利用者	市民、社会教育活動関係団体、地域団体、学校等団体						
運営形態	直営						
指定管理または包括管理委託等の期間	～						
管理者名	—						
開館時間	8:30 ～ 21:30						
建物情報	総延床面積	2,973.84	土地面積	7,637.55			
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	6,233.55		
	地上階数(主要建物)	3			うち借地面積	1,404.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.04				代表地目(現況地目)	官公庁用地
	耐震工事(主要建物)	—					
	建築年月日(主要建物)	1980/2/28					
	経過年数(主要建物)	43					
用途地域	市街化調整区域						
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計				
設置事業費	451,136	49,514	500,650				
財源	国・県	94,200	—	94,200			
	寄付金	—	—	—			
	その他	—	—	—			
	市債	141,000	—	141,000			
	一般財源	215,936	49,514	265,450			
特記事項	—						



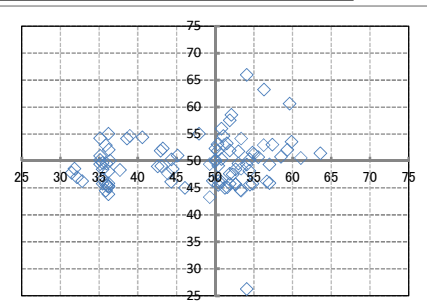
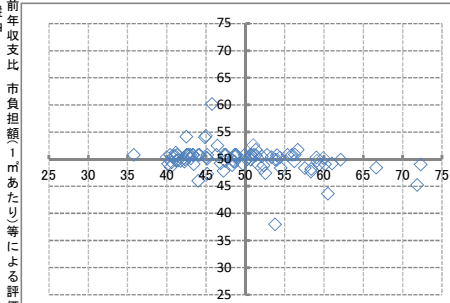
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	4,754	4,364	4,279
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1,123	1,150	1,180
	収入計(A)	5,877	5,514	5,459
支出(千円)	人件費	26,000	20,400	20,400
	物件費(委託料)	2,829	2,975	2,680
	維持補修費(修繕費)	1,255	2,527	1,371
	物件費(光熱水費)	5,822	3,132	4,393
	物件費(借地料)	2,054	2,054	2,054
支出計(B)	37,960	31,088	30,898	
行政コスト(B-A)		32,083	25,574	25,439
収支前年比		125.45	100.53	85.21
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		10,219	10,219	10,219
利用状況	利用コマ数/年	17,823	14,811	—
	利用可能コマ数/年	40,960	35,219	30,522
	施設利用者数/年	93,204	95,194	71,500
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	269,736	25,829	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	ホール昇降ステージ改修工事	22,000	2009	機能修復工事(建築工事)	151,200
2019	駐車場整備工事	27,591	2009	機能修復工事(機械設備工事)	77,198
2017	附設体育館床面改修工事代金	6,570	2009	機能修復工事(電気設備工事)	59,850
2015	体育館吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	19,526			
2015	体育館吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	7,245			
2013	附設体育館 屋根改修工事	12,915			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-054	浜名協働センター	生活	2.0
06-006	積志図書館	地域	0.0
15-029	積志小学校	生活	0.5
07-025	ひまわり放課後児童会	生活	0.5
14-046	浜松第34分団	コミュニティ	0.6
15-112	積志中学校	生活	0.6
08-011	積志保育園	生活	0.7
08-032	橋爪幼稚園	生活	0.7
24-007	半田揚水機場	—	1.0



基本情報	リストNo	03-035	施設コード	04504	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	積志協働センター				施設	東区・区民生活課
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	1
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務、自主事業(講座等の企画・開催)、地域づくり活動の支援、各種届出受付と各種証明書発行窓口業務				
		主な利用者	市民、社会教育活動関係団体、地域団体、学校等団体				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
	一定の利用者があり需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測						
	少子高齢化の進展により、身近にある施設として更に存続ニーズが増す。						
特記事項							
生涯学習・地域づくりの拠点として必要不可欠な施設である。							
主要事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	地域ふれあいフェスタ事業・開催日数:7日(2022)※事業費及び実施状況欄は、協働センターまつり2日、ふれあいコンサート1日、奉仕活動4日の合計。※のべ募集人数は、定員等を定めていないため参加者見込数。	2022	878	2,533	1,052	
			2021	878	500	492	
			2020	878	500	459	
			2022	764	417	395	
事業②	はたちの集い開催事業・開催日数:1日(2022)※のべ募集人数の欄は地区の対象新成人数。	2021	645	442	322		
		2020	585	422	277		
		2022	796	577	528		
事業③	各種講座等の開催講座数:36講座(2022)※事業費及び実施状況欄は、子ども講座12講座、大学連携事業1講座、アクティブ・シニア講座9講座、地域文化セミナー11講座、ヒューマンセミナー1講座、学習成果活用事業2講座の合計。	2021	795	784	672		
		2020	735	559	525		
		2022	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—		
2020	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	建築から40年以上が経過し、老朽化により今後の改修等に掛かるコストの増大が見込まれる。また、利用者の少子高齢化の進行に伴い、設備のUD化等の必要性が高まることが予想される。施設利用者の駐車場について、施設付近に民間の駐車場が少ないこともあり、満車状態になることも少なくない。					
	対応策	随時、施設の点検を行い、不具合等が小さいうちの早期発見・早期修繕に努める。不具合等の修繕の際には、併せてUDに対応した形に設備を改良できないか検討する。駐車場については、利用者に対して乗り合わせをお願いするなどの呼びかけを行う。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
記入欄	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			
民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	10,788	8,600	8,554	1人当たりのコスト(円)	344	269	356	
	施設利用率(%)	43.5	42.1	0.0	1開館日当たりのコスト(円)	89,368	71,237	70,861	
	1日当たり利用者(人)	260	265	199	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋							※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。	
		利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。									